第三千七百六十七號（一）　明治三十九年八月十日第三種郵便物認可　THE KEIJO NIPPO　大正七年三月十八日　（平日中無休刊）

京城日報

十七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢
廣告料金　七字詰一行
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城本町通一丁目　京城日報社

獨逸東漸と極東

▲内田大使立往生
過激派應ぜず＝セ軍との交渉

オムスク安著後何等の通報に接せざる爲め其旅程に就き懸念せられ居りし内田大使の一行は突如十三日ダウリヤに到著せりとの報ありされど同地は過激派軍とセミヨノフ軍との交戰地帶に當り過激派の第一線なるを以て其警戒嚴重を極め爲めに特別列車より委員を派し過激派本部に無事通過方を申込みたるも過激派はセミヨノフ側に其機關車を奪はれん事を恐れ現に數回其實例ありしよりセミヨノフ側が機關車を奪はずとの保證を爲さざれば其の請ひに應ずる能はずと頑張り未だ解決するに至らず（哈爾賓特電）

▲ブ市襲撃と過激派
ブラゴエチェンスクの戰鬪に就いて某陸軍將校は語りて曰く『ブ市の襲擊に際し過激派は豫め我自衛團の有する武器庫を占領して之れを使用し尙ほ其の根據地たるハバロフスクの軍管區司令部に蓄へありし多數の銃器彈藥を持出したるもの、如しブ市には二千名の俘虜收容せられ居る筈なるが今回の襲擊には過激派の中に右俘虜並に或る陰謀を有する者加はりたるものならん』（東京特電）

▲獨軍オデッサに侵入す
獨逸公報に據れば獨逸軍はオデッサに侵入せり（倫敦電報）

▲ブ市本邦人の避難
ブラゴエチェンスクの邦人は黑龍江の對岸サシヤンに避難したるが最後迄止まりし中村某の報告に依れば死者多數なりと（浦鹽電報）

目下浦鹽に在る帝國軍艦は二隻にして邦人の生命財産に危險ある場合は陸戰隊を上陸せしめ得る準備有り（東京特電）

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（十六日）

▲委員會
＝賴母延著＝

●貴族院にては十六日午前十時●朝鮮產品の移入稅免除法律案の委員會あり松本主稅局長理由を說明し大久保利武氏尾崎三良氏等の質問に對し松本政府委員及び鈴木政府委員答辯の上質問終了し討議に移り衆議院送附案の通り可決せり

▲決算第二分科會
午後決算第二分科會を開き朝鮮總督府決算中遞信局海事費に關する件は政府に對し將來の注意を促し●釜山鎭埋立に關する件は政府の措置穩當を缺くものと認むと決定す

衆議院（十六日）

▲豫算第四分科會
＝賴母延著＝

十六日午前十一時衆議院豫算第四分科會にて高木正年氏（憲政）の質問に對し加藤海相は答て曰く獨逸潜水艇が萬一陸路東洋に廻送され日本海に活動するが如き事ある際は其防備に關し細心の注意を拂ふべく現に敵の動靜に就ても充分の注意及準備に努め居れり又萬一の場合はトロール船をも使用すべく

◎唐紹儀氏東上
唐紹儀氏は十七日神戶著オリエンタルホテルに休憩の上有志の歡迎會に臨み東上せり（大阪特電）

◎國澤理事長　消息
國澤滿鐵理事長は上田秘書役外數名の隨員を從へ十五日午前十一時半來吉直に孟吉林督軍、省長、公署を訪ひ午後三時より深澤領事の招宴に臨み四時支那大官の答禮を受け六時より日支官民を鑪南旅館に招待し吉長線引受後の挨拶を爲し名古屋館に一泊し十六日正午孟督軍の宴會に臨み午後二時長春に向ふ長春よりは山內領事長春道尹隨行せり（長春特電）

◎露紙と出兵論
議論區々

日本の西伯利亞出兵なる題目に關する新聞論調を見るに

▲ウートロ、ロシーは曰く『西伯利亞鐵道守備に關し日米間に協議成立し日本は聯合國の委任を受け西伯利亞を占領すべし我國現時の狀態は外國人の權利を保護する能はざるなり故に吾人は聯合國の執る此處置を以て露國に敵意を有するものと見做す可からず聯合諸國が來るべき平和會議に於て吾人を支持すべきを信ずるものなり故に吾人は日本の行動に對し冷靜なるべきなり』

▲ルスコエ、スロヴオは曰く『露獨單獨講和締結せらるゝや極東の保全者を以て自任する日本は獨力西伯利亞を占領して秩序を維持せん事を提議し英佛は之を贊成せり吾人も亦保護するため聯合諸國の干渉を必要とするものなり然るに米國は之れに反對すと云ふ之米國が日本に西伯利亞に於ける特殊利益を與ふるを欲せざるに依る可く米國は日本が其出兵に對し何等の賠償を要求する事なき場合に限り其の單獨行動を許容す蓋し國際關係は其の變轉極めて測り難きものなるを以て戰後日本が獨逸と提携するを得策となす事なしとせず日本をして西伯利亞を占領せしむるは之れ日本をして聯合國より其忠誠に對し大なる報酬を要求せしむる素地を與ふるものなり今後世界政治の中心は歐洲バルカンより轉じて極東太平洋に移るべく極東問題は各國の均しく利害關係を有する所なり故に英佛は日本の計畫を排しウイルソン氏の提唱する如く聯合諸國共同して西伯利亞に於て露國を助く可きなり』

▲ルスキヤ、ウエドモスチは曰く『外電は西伯利亞占領は露國に對し敵意を有するものに非ずして獨逸に對する自衛手段なりと解せらる然れ共沿海及西伯利亞の占領は露國を獨逸包圍の鐵柵中に投ずるのみならず歐露に於て穀物庫を失へる露國をして更に西伯利亞の穀物庫を失はしむるものなり日本の占領は露國民に對し敵意を有するものに非ずとするも日本は之れに要したる犧牲に對し何人より

◎俎上の鮮鱗
既に獨領の氣分漂ふ
哀れ露國民＝國家の前途眼中に無し

客月廿四日高柳少將等と共に露都より引揚來れる一行中の武內長雄氏は哈爾賓より一行に先ち十五日長春に來れるが其の談に曰く

獨軍は目下ケンプスコフ迄押寄せ來れり　されど露都は至つて平穩にて自分等も大使館より引揚げ命令なかりせば猶引揚げざりしなり露人は近く獨逸軍の占領に歸すべき事は覺悟せるものゝ如くなるも如何とも爲し能はざれば自然の推移に委し居れり露都に於ける獨探の行動は今は一部分の狹き活動にあらず、自然の空氣既に獨逸領中に含まれたる如き感あり、全露國は全く過激派に依りて支配され軍人より勞働者に至る迄共產主義の社會黨氣分に醉ひ現政府レニンの政策を謳歌しつゝある有樣なるを以て反過激派の勢力等認むるに足らず全露國民は敵味方の差別なく主義の爲めに握手し總て主義に合せざる者を亡さんと稱し之れを以て人類最上の幸福なる方法として國家の前途など眼中に無し、尙ほ露都食糧の缺乏は益々迫り來り今は馬鈴薯一布度一留五十哥といふ高價を示し麵麭は一日一人に一布度の八分の一より買らず、肉類は一布度五留五十哥と云ふ値にて昨年に比し二十三倍の暴騰を示せり』されど今日迄各階級を通じて甚しき困難には陷り居らず未だ世間風說の如く疲弊しをるに有らず猶多少の餘裕あるを以て斯く物價の高騰を示せるも差して困難を感ぜざるが如し、目下露都にては土地、家屋、有價證券、金屬類の賣買を禁じ居れり市中は解放せられたる獨墺俘虜排徊せる者多數ありされど彼等は武器を携帶し居らず露都を發して哈爾賓に著する迄には何等變りたる事なく滿洲里以西の破壞鐵道は復舊せられ至極靜穩なり、國境たるマチエフスカヤは過激派の軍隊にて固め入國者を監視し滿洲里にては支那軍とセミヨノフ軍にて東進する者を警戒し居れり

●滿洲里にて●尙高柳少將は滿洲里にてセミヨノフ大尉の訪問を受け四時間に亙る談話を爲したるがセミヨノフ大尉は三十五六歲の貴公子的軍人にて大事を爲す可き人とは見受られず國境に於ける聯軍は放列を敷き或は塹壕を穿てるなど大袈裟に傳へらるゝも其樣なる形勢は認めず唯だ滿洲里にては支那兵が鐵道を固め露兵を列車に近けしめず強て近づかんとする者あらば支那兵は假借なく突き退け露兵は恨めし相に睨めつけ居たるを見たるが氣の毒の感ありたり露都在留の各國外人は此際皆引揚げたり露國西南の國境は獨逸軍に依りて蹂躪せられ居れば獨探の行動自由に行はれ獨逸の物資侵入は容易なるも露都には未だ獨逸品を認めず（長春特電）

◎赤十字篤志表彰
左の諸氏は此程何れも日本赤十字社に對し所定の寄附を爲したるに依り其篤志に對し今回有功章、社員又は特別社員に推薦されたり

▲全北沃溝郡（有功章）文鎭如▲慶南東萊郡（特別社員）吳泰煥▲江原道淮陽郡（同）孫韶▲同（同）金敬道▲全北群山府（同）尹相天

◎滿洲線運賃改正
京城管理局にては從來軍人軍屬に對し施行しつゝありし日支日滿及び日滿露聯絡乘車券發賣方運賃中今回滿洲線日支及び日滿聯絡の乘車運賃を改正したるが之に據れば日支聯絡安東奉天間普通列車一等八圓五十一錢二等五圓九十六錢三等三圓四十一錢、日滿聯絡安東長春間急行列車一等二十一圓八十五錢二等十六圓十九錢普通列車一等十七圓九十八錢二等十二圓五十九錢、三等七圓二十錢の運賃なりと

◎露領沿海鯨漁
露領沿海洲地方の鯨漁期に入りたるより例年の如く咸南北沿岸漁船は之が買出の爲め露領に赴くもの多きが此等漁船は旅券下附、糧食積込み及び取引上の關係等より一應淸津に寄港し準備を整へたる上出帆する事とて昨今の淸津港は此等漁船にて帆檣林立の盛觀を呈せるが本月一日頃より八日迄の入港漁船は六十六隻にして警察署に旅券下附を出願せるもの三百六十餘人に達せるが今後續々入港の模樣なり尙ほ本年露領方面鯨魚價は一般勞働賃金昂騰の結果例年よりも高値の見込みなり（淸津）

◎白隱元好況
一昨年以來白隱元の價格頗る好況なるより咸北南より鬱島方面に亙り之が栽培熱頗る盛んにして農家は他の作物を減じても之を栽培せんとするものすら生ずるに至りたるが本年の作付反別は優に前年の三倍以上に達すべき見込みなり而して白隱元は山間部にても比較的瘠薄なる土地と雖も輕鬆なる砂質土を好み肥沃粘壤地にては徒に莖葉のみ繁茂し收穫少きを以て農民は多く山間の休閑地及び丘陵地等を開墾して播種し居れるを以て之が栽培勃興すると雖も他作物に減少を來すが如き事なかるべく多少大豆作の減退の外他作物に影響なかるべしと（淸津）

◎第八回移民狀況　東拓
第八回移民として本年移住すべき者の中初來者は客月上旬既に移住地に到著し諸事準備中なるが大部分は例年三月末より四月上旬にかけて來鮮すべきを以て本年度も未だ多數の移住者なく下關釜山兩地よりの報告に依れば十六日迄の數約百戶にして漸次增加の傾向也

◎電話加入區域變更
電話加入區域變更に關する府令十八日總督府官報を以て發布四月一日より實施さるべし右改正の要旨は行政區域及び其名稱の變更に伴ひ關係各地の電話加入區域及び名稱の改正を必要とするものなるが地域に於ては大體從來と大差なきものなり

◎上旬鐵道營業收入　滿鐵
滿鐵京城管理局に就き三月上旬に於ける鐵道營業收入を聞くに乘車人員二十四萬二千二百八十八人小荷物四十五萬二千五百八十五斤貨物六萬三千二百十一噸にして之に對する客車收入二十萬百十五圓貨車收入十九萬三千百十一圓合計三十九萬三千二百六十二圓なり今之を前年同期に比する時は十萬千六百六十三圓即ち一日に於て一萬五千餘圓の增收なるが尙之を一日一哩平均に就て見るに本年度の三十六圓一錢に對し前年度同期に於ける二十六圓九十八錢に比し實に九圓三錢の增收なり

◎京畿畜牛近況
大正六年度中に於ける京畿道管內畜牛の出產斃死撲殺及び屠殺數を聞くに出產數二萬二千九百九十一頭斃死八百二十頭撲殺三頭屠殺九萬零八百十五頭なりと

◎畜產組合新設
今般牛の生產、賣買及び賣買の仲介を其の業務とする畜產同業組合の設置を其筋より認可せられたるもの如左

▲名稱鐵山郡畜產同業組合▲地區平安北道鐵山郡一圓

◎郵便局事務員募集
京城郵便局にては管內京畿忠淸南北全北及び江原道の一部に於ける郵便に採用する目的にて四月一日より同局に於て事務員を養成すべく其の條件は左の如く志願者は來る二十日までに同局に願書を提出すべしと

一養成中は內地人男二十錢女十五錢鮮人十五錢を給與す
一養成期間は五箇月
一年齡は十四歲以上十九歲以下
一採用試驗は讀書算術作文口述の三種とし內地人は中學校二年修業し鮮人は公立普通學校卒業の程度とす
一卒業後の義務は手當を受けたるものは三箇年手當を受けざるものは二箇年遞信業務に從事するの義務あるものとす

◎持地長官歸任
西鮮地方に出張中なりし持地遞信局長官は十七日午前歸任せり

◎金澤博士出張見合　總督府
總督府囑託金澤博士は十七日平壤へ出張の豫定なりしが都合に依り之を見合せ二十一日迄京城に滯在の上內地へ歸還することゝ成れり

◎吉田鮮銀營業局長轉居
鮮銀營業局長吉田節太郞氏は十六日[illegible]町一丁目鮮銀舍宅（前住岡部氏跡）へ轉居せり

◎光州
▲管內學校長會議　全南道管內小學校普通學校長會議は十二日より開會十四日宮木長官臨席の上一場の訓示を與へたるが上田視學官も同日一場の講話を爲す筈なりしも微恙の爲め同日丈け缺席せり尙會議は十六日迄繼續さる▲各學校卒業式　光州農業學校にては廿一日普通學校は廿三日夫々卒業證書授與式を擧行すべし▲吉村氏送別會　本道第二部長より鎭南浦稅關長に榮轉したる吉村讓一郞氏の爲め學士會にては十六日夜庭球俱樂部にて十六日夜又一般官民合同にて十五日盛大なる送別會開催同氏は十七日朝出發京城に二泊の上赴任すべし▲矢島第二部長著任期　黃海道より本道へ轉じたる矢島第二部長は十七日海州發京城四泊廿二日光州著任の豫定なり

九州要地歷訪（一）
永同にて　別府生

◇雨亭督軍の愛娘
九州要地歷訪のため十五日午後七時五十分南大門驛發列車にて南下致し候

▽車中の雜沓　甚だし、寢臺車の滿員なるは勿論、二等車は客多くして到底收容し切れず、遂に其の三分の一強の二十人ばかりは一等室に溢れ出し候而して一等車には花の內地觀光に向ふ滿洲の大立者張雨亭督軍の愛娘の一行及び其他の乘客あり忽ち滿員と相成り候、殊に三等車の如きは恰もすし詰めと稱するを適當とすべく、車中通路に幼兒を抱いて永き間立ちづくめの人も多き模樣也、鮮鐵近時の運輸收入極めて好調にして一日四萬圓臺を突破する事珍らしからず

▽乘客收入　二萬圓を超ねつゝあるは誠に道理なりと思はる、此の狀勢にて續かば鮮鐵は今一回位の本線直通列車を出す必要なきに非ざるか、少くも二等車並に三等車の增結は刻下焦眉の急と稱するを得べし、車中滿員、而してヒーター強く、苦熱甚しく到底眠る可らず、同車中斜め向ふにある雨亭督軍の愛娘を如何と見るに白の朝鮮服、白キャラコ、おすべらかしの朝鮮髮、唯其の容姿花の如しと云ふ能はざるを憾む、パイレートを切りにくゆらし、折々隣席の鄭君と語り、洋服の塵などをとりやらるゝ所に其の

▽女房振り　現はれゐたり永同までに既に約一時間を遲延しゐたるが、更に列車の永同に留まる事頗る永し、車掌氏に聞けば汽鑵車の故障なりと云ふ、尙ほ十五六分は要るべしとの事に付、かく列車の遲れて十六日着釜山發の連絡船に接續すべきやを懸念しつゝ一筆啓上仕り候（十六日午前二時認む）

東京より
在京一記者

獨逸東漸と極東問題（十）
●出兵區域問題●

○倫敦タイムスは露國の形勢を論じ、日本軍隊前進の必要を說て曰く、『西歐聯合國が露國の同意を經て、日本出兵を希望する所以のものは、アスリスに依て表示せられたり。彼は曰く。予は露國が其の適從する所を見出さむことを信ずと。蓋し彼は將來を論じたるものなりと雖も、日本の出兵を希望するものは、現在を考へざる可からず。日本の占領が太平洋沿岸に局限せらるゝに於ては、軍事上何等の効力なく、却て疑心を起さしむべく、之に反して日本兵が公平無私の目的と聯合國の承認とを以て西伯利鐵道線に沿うて前進するに於ては、露國に於ては自國の救濟を希望する健全分子に對し、其眞目的地たるの用を爲すを疑はず』と。○又た佛國の新聞紙は、日本にして出兵の目的を遂行せむと欲せば、日本は烏拉以東西伯利を占領せざる可からず。然らざれば、日本の出兵は、世界的意義を爲さず。若し日本にして、單に其の活動を西伯利本部に限定する時は、不當なる疑惑を惹起すの虞ありと爲すものゝ如し。

○蓋し我が帝國にして、西伯利に出動する目的は主として東邦の平和を確保するに在りと雖も、他の一面には、露國の過激派、親獨派を掃蕩し、露國の民衆を救濟し、露國の獨逸化せらるゝを未然に防制するに在り。故に我が出兵の範圍を貝加爾以東の西伯利方面に限定すべき乎。更に進みて烏拉を越えて西伯利全土を占領すべき乎。將た一歩を進めて歐露迄に及ぼすべき乎。是固より重要なる問題なりと雖も、出兵區域如何は一に軍事的戰略に屬するを以て、其の他細如何は之を我が帝國の自由的意思に一任するを至當と爲す。今日に於ては、豫め其の區域如何を限定するが如きは、迂闊の見。適當の大計を論ずるに足らざる也。

○、苟も露國民衆にして、我が帝國の西伯利出動を聞き慨然として、義兵を糾合し、帝國陸軍の後援に依り、進みて過激派政府を顚覆し、單獨講和條約を破棄し、聯戰の師を興すに至らば、我は必ずしも烏拉を越えて遠く前進するを要せざるべく、之に反し、露獨相合して我に抗し、我が義兵を妨ぐるに於ては、我は貝加爾以東のみを嚴守するを許さざるものあらむ。要は露獨の形勢如何に應じて、我が戰略を定むるに在るのみ。テイリー●グラフヒックが、『日本は破壞を事とする過激派軍隊を鎭壓し、西伯利各地に散在する獨墺捕虜の武裝を防ぐに依りて莫斯科に獨立せらるべく豫想する眞正政府に對し、異常の援助を與ふることを得べし』と云へるは、吾人の心を得たるものにして、我出兵の目的の一は、茲に在るを疑はざる也。

人事消息
▲久水外事課長　十六日午後仁川より歸任
▲橫田騎兵中佐　十六日午後元山より入京
▲淺田中佐（羅南騎兵聯隊長）　十六日午後入城館へ
▲土屋中佐（同騎兵聯隊長）　同上　京大觀亭へ
▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）　十七日夜入京浦館へ
▲須藤素氏（全南第二部長）　同上
▲藤見殿氏（實業家）　同上
▲宮田儀作氏（實業家）　十七日朝過京
▲矢野久三郎氏（營林廠長）　同上
▲岡田應支部專賣課技師　[illegible]八九日頃[illegible]發路省の答

彼れ此れ
◆英紙タイムスは、華府通信を揭げて曰く。今や日本が、西伯利亞北滿洲に、優勢の兵を送り、羅師團之に隨從すとの事は、實現となれり。考慮の時代に非ずして、米の國論も亦、我出兵を否認し居らざる、一證とや云はむ。

◆歐露よりの報によれば、日本出兵せば、獨露同盟成立し、先づ貝加爾迂回鐵道を破壞し、日兵の進出を妨げ、クルップ工場の支局をウラルに移し、アーチャンゼルに堆積せる軍需品を、北氷洋航路にて送り、エマセー河口に陸揚すべし、而してツエッペリン格納所をイルクックに設くべしと。露獨同盟は、露の欲するに非ずして、獨の爲さんと欲する處。クルップ支局設置以下の設營も亦た、獨の近き將來に於て、實行せんとする處なり。敵にして既に此の準備ありとせば、東洋の將來は、愈々多事也。熱慮斷行は今日の金言也。

◆獨逸よりは、潜航艇を取り去れば、鬣の爪を捥ぎしも同樣にして泡を吹くより他に、唯橫行するあるのみ。佛國は、三度水雷を受けて、沈沒せざる、新型安全船を發明す。潜艇無效とならば、獨逸は最早、唯一の頼みの綱も切れん。

表間時　[illegible]

十一月一日現行

●プ市の日本義勇兵
＝絶望的悲運の市を守る 衝突！衝突！第三回！！

來電によれば、プラゴエチエンスクに於ては最近過激派の勢力漸次增進し來り殊にハバロフスクより極東勞兵會テ・クラスノスチヨコフ氏來るや、勞兵會は俄に活動を始め三月五日地方自治組合の權力を奪取し郵便電信局並に帝國銀行の引渡を要求するに至り一時殆ど

◆絶望的悲運 に傾きたりしが一方哥薩克軍は幾度か夜襲を試みんと決意せしも武器不足の爲め遂に實行するに至らず茲に於て露國將校は最後の手段として食庫か對岸に避難し居たる九十五名の警護の義勇民兵用の銃器を手に入れし事過激派の探知する所となり遂に義勇民兵隊長並に彼のコンモウラより同行せる

◆日本人十名 中の四名捕縛さるゝに至れり然るに民兵隊の激昂一方ならず直に勞兵會本部に既著け嚴談の從漸く是等を放免せしめたるが是れより先對岸の日本人は萬一の際同胞の危急を救ふべく在郷軍人の義勇團を組織しつゝあり、六日夕刻西伯利亞銀行支配人より同地

◆日本居留民 會長を經て同團に保護方を懇望し來りしも最初は態よく斷りしが數時間の後右の報道に接し且つ支配人は露國領事と共に再び援助方を歎願し來り前記將校團亦勸誘に力めたるを以て今は拒むべきにあらずとして二十九名の團員は直に

◆武裝て露國 將校團員と共にプラゴエチエンスク市に赴き、同市義勇民兵と共に市內の警備を開始したり哥薩克は斯くと聞くや大に氣勢を加へ忽ち出動して先づ過激派の砲兵大隊と衝突して是を驅逐し其本部を襲うて十一名の領袖を捕縛したるが此の戰鬪に於て兩軍の

◆死傷十二名 を算し哥薩克軍は尙ほ引續き過激派を攻擊中にて日本人は此際死傷を出したる者なるべく尙飽くまで侵略主義の過激派軍は過日來ハバロフクに向つて援軍を求め大砲機關銃まで輸送を求めて居るに徵し正しく

◆三度目の攻擊 準備中にして一兩日中には必ず復一騷動を起さんとする形勢ある由なれば最近電報の報ずる處プラゴエチエンスクの慘劇も亦これに關聯してあるべしと（某氏談）

●恐ろしい空中攻擊に 燒かれる 軍需品工場
＝敵のコブレンツ市

アムステルダム來電に依れば獨逸のコブレンツ市は軍事上他と交通を絶したる都市にして通行劵なくては何人と雖も出入を禁止され居たるが此程恐しき空中攻擊を受け二箇所の軍需品工場は目下盛んに燃燒しつゝあり猶多量の爆藥も引續き爆發しつゝありと（東京特電）

●九管瀆職事件 豫審終結
太田副參事免訴

北九州大疑獄の一部九州管理局瀆職事件は十六日福岡地方裁判所に於て豫審終結し各被告有罪內太田副參事、古川麻生店員、川本芳雄驛助役、池田鐵道院書記、平島二瀨出張員、松岡杭木運搬請負業者は免訴と決定せり（福岡特電）

●德川男 科料に處せらる

德川厚男は七日夜芝區松本町にて同區三河臺町煮物屋小柳助五郎（二〇）を自ら操縱せる自動車にて引倒したるが右は道路取締規則違反として十六日十圓の科料を申付けられ又男の實弟德川慶久公は宮內省宗秩寮に呼び出され男に謹愼さす可き旨の戒告を受けたり（東京特電）

●春陽丸遭難別報

十五日咸南汝海津沖にて擱坐したる汽船春陽丸（二百九十五噸）は元山田丸回漕店の所有船にして同船は本月八日長崎より回航し油津に初航の上元山に向け歸航の途中遭難したるものなりと遭難と同時に救護船出動して無事救助し船體には多少の破損あるも乘客等更に異狀なし積荷一千個は汝海津に陸揚げし自力にて元山に向け歸航せり

●成金不德 山下氏女子職業に問題を惹起す

山下龜三郎氏は共立女子職業學校に三千圓を寄附し最近更に一萬圓を寄附したるが一兩日前山下家より同校に一名の老婦人授業中に訪問し卒業式の近ける家政科生徒の授業を中止せしめ教室中の生徒を一人々々物色し山下氏方の嫁擇びを爲せりとて父兄中には非常に憤慨し學監鳩山春子女史問責の騷起れり（東京特電）

浦鹽特派員電報
清津より 西村生

▲十七日には浦鹽 着の筈なるも一夜遲れたるも城津の碇泊を短縮せる結果豫定を取返し十六日夜清津着是より浦鹽に向はんとす、城津より二百名の乘客ありしが內八十名は浦鹽行なり、邦人引揚の噂さへある折柄面白き現象と云ふ可し尙ほ浦鹽には十七日朝着の豫定なり

●大金拐帶 支那人ボーイ

哈爾賓三井物產支店にて本日支那人ボーイが手提金庫の儘日本貨幣二萬五千圓露貨十萬留を拐帶し南方へ行し形跡あり目下嚴重捜索中なり（長春特電）

●黑手組 大學教授の息
中原博士辭表を提出す

九州帝國大學工科大學教授工學博士中原淳藏氏長男一年生英（二三）は米國式の黑手組を働き福岡署に取調られ一旦歸宅を許されたり因に英は優等生にて家庭は嚴格なるに昨年秋より惡友に誘はれて酒と女に親み常に懇意なる玉突屋木原ちうに情夫あるを知り無名にて綱町裏埋立地の石の下へ百圓を紙に包み置く可しさもなくば世間に曝露す可しと脅迫したる事發覺せしより父博士は大に歎き辭表を提せり（福岡特電）

●二兒を絞殺 精神異狀の母

●普通學校學藝會

仁川公立普通學校にては十六日午…日は各學校生徒の參觀するものあり其他の來賓十數名に達し非常の盛會裡に午後五時終了したり

…午後二時より同八時まで彼岸の法要を營み吉村大町兩開教師外數氏の講話ある由

●連絡船上陸客 十六日午…

三等客 一等（五名）府中清次郎、同いし、安武千代吉 外人二名 二等（十九名）宮原良策、山本賢治、毛利泰…子、非上宗次郎、藤田扁一、赤松信次郎、安本周政、同あさ、吉田ひさ、同彌太郎、同榮、按本英太郎、西垣眞一、大西勘左衛門、倉橋定藏、松井虎吉、川井光太郎、野田源五郎、小南秀藏、村井さく、橋本實男、鈴木まつ、前田秀雄…

●於義洞簡易工業展覽會
▽七箇月の教育で開いた 出品千三十點

既報の如く於義洞簡易工業學校展覽會は十七日午前九時から同校で開會されたが當日は暖かな春日和に加へて日曜日の事とて入場者極めて多く押すな押すなの大盛況、場所柄

◆朝鮮人 の觀覽者が大部分を占めて居た、陳列してある製作品は机、本箱、卓、火鉢、バケツ、スコップ、金盥、五德、十能の樣なものから小さいのは三錢の釜迄全部で千二十七點あつたが値段の安いのを生徒が搾たと云ふ事が

◆人氣を 呼んで十一時頃迄には目欲しい物は大半賣れ盡したりやうやく七箇月教育を受けた生徒二十六人の製作品ですが來年はもつと盛大にやれると思つて居ます當校は學科と云ふよりは寧ろ

◆實習に 重きを置いて直ちに優秀な技術者となる事の出來る樣に教育して居ます生徒も始めは上級の學校へ這入る足場にと思つて入學した者もやつて居る內に趣味が深くなつて之で一人前にならうと云ふ希がついて頗る熱心に勵む樣になり中途退學をする者も殆どありません本年の募集生徒

◆簡易工業展覽會

◆三十名 もう豫定數に達しました」と妹尾校長は語つて居た、尙十六日は松永道長官、關中學務局長、金府尹、入澤第一部長、弓削學務課長其他學校關係員の參觀があつて最初の試みとしては成功であつた

●色魔か 少女を強姦す

去る十五日午後七時頃大邱西門通某鮮人の娘にて今年十一歲の少女が他出する母の歸宅を迎へる爲め子供を背負ひ際て

◆知合 なる西門通り某宅の前まで到りしに折柄背の子供がしきりに泣き出せしより多分乳欲しさの爲めなるべしと思ひ前記某宅に立ち寄り內儀に可愛想に思ひ何かと食物など與へてすかし居る內に同家主人なる某（三一）は何氣なき風を裝ひて少女を欺き、程遠からぬ達城公園內の

◆松原 に連れ行くや突然少女の兩手を荒繩を以て縛りたる上口を手にて押へ遂に獸慾を遂げたるが卅一歲の大男が僅か十一歲の少女を強姦した事とて大負傷をなし

◆半死 半生にて同所を逃げ出し其の儘自宅に歸り實父に斯くと告げたれば父は大に驚き此旨西門巡查派出所に屆け出でたるを以て大邱署よりは當直の富田部長驅武警察署を從へ急行し少女は直ちに驅武醫院に入院せしめ一方加害者の

◆行方 を晦まし本稿締切まで極力探查中なるが某は未だ縛に就かざりしも日ならずして捕縛さるゝに至るべく尙被害者は生命には別條なかるべきも治療二三週間を要すべしと（大邱）

日曜ポンチ 影法師とヂョン

（一）夜はだん／＼更け渡り、あたりはしんとして何の音もきこえない、たゞあんまの吹く淋しい笛の音と青白い瓦斯燈の光りとがあるばかりだ、ピートロピートヽトロー。瓦斯燈の下には犬がグームニャムニャ。

（二）あんまさんは小石にけつまづいてアイゴー、思はず大きな聲を出した。ヂョン君其の音にたまげてあんまを目がけて吠え出した。ワンワンワン

（三）あんまさんは犬に吠わられてガタガタふるへて居る瓦斯の光りに映されてあんまさんの影法師が土塀に寫てのびたり、ちゞんだり、遂ひにあんまさんは盲目滅方に逃げ出した土塀に寫つた影がヂョン君の方にニユーと押し出て來たので、ヂョン君コリヤたまらん退却／＼キャンキャン／＼―とみ―

●火事が多い
▲一般の注意を要す 經學院內の火災

氣候が漸く暖かくなつた昨今京城には頻々たる出火がある、幸に消防が早い爲め大事に至らず消し止めてはゐるが十六日から十七日朝に掛けて次の如く

◆五回の火 災があつたのは注意すべきだ

▲十六日午前十一時四十五分頃船橋町百五十六番地洪今星方の温突の焚口から燃え上り草葺一間を燒失▲同日午後二時二十分西大門二丁目官有原野の芝草より發火約三反歩燒失鎮火▲同日午後七時三分通義洞百十一番地趙恒植方温突の煙突破れ目より漏火し草葺二間燒失同七時二十分消し止む▲同午後八時

◆龍山電氣 會社より出火（既報）▲十七日午前五時三十分頃崇三洞百十二番地經學院所屬成均館內杜稀祥方の温突焚口より發火し東大門常備消防隊より水管自動車驅けつけホース十四本を使用して消防に從事して延燒を防ぎ…止めたり同所は總督府の所管にして本月二十一日には釋奠擧行のことゝなり居り幸に延燒を免る

●春を！
＝訪ねて＝

□□□ 淸涼里へ（在市の中の郊外に新たな春を探す人の群中） □□□

いつも白い著物の人で、座席の大部分が占領されてゐる、淸涼里線の電車も、けふはめづらしく一番形の大丸髷に

△緋鹿子 絞りの手柄をかけた美しい細君と睦まじさうな若紳士や、絹から抜け出して來たやうなきれいな娘さん、お辨當でも這入つてゐるらしい風呂敷包みを背中に結びつけた西坊太郎君、さてはお母樣からお婆樣まで、大分色彩の異つた人を、朝から搭り運んで行つた

◆日曜日の一日を一家打連れて春の郊外の行樂な

◆捻いましにしようとする人たちの群れに交つて淸涼里へ、出掛けて行く、風は少しはあるけれども、洋服の襟を立てる程の風でもなく、電車が靜かに走つて行く道の兩側の畑には幾か…たと一面に枯黄色いばかりの荒涼な廣い平野を鮮かに彩つてゐるのが、久しく青いものを見ない吾々には何んとなく懷かしく見られる安井川の先き淸涼里入口の並木の

△楊柳の 芽も淡い緑に膨らんでゐる、電車の終點、傍の前には緋毛氈を敷いた綠臺をいくつも置いた休み茶屋が三四軒、往き戻りのお客を呼んでゐる、王妃の墓へ詣る參拜者が三四人、日向に春の陽が射して温かさう、このあたりには朝鮮人の貴族富豪の類ひでもあらう、白い紬の著物に水色のツルマキに脂粉の粧ひを凝らした婦人を乘せて賑かにさんざめきながら往還然と

◆乘廻してる人もある 王妃の墓の手前から右へ折れて三四丁行くと、小さな川の邊りに出る、芽を浸せば有難にまだ冷りとする蒸溜水のやうに綺麗に澄んだ水の中には小さな目高がチヨロ／＼と下つてくる、小川の邊りから雑木林の中に別け入ると、こゝにも春の光りは溢れてゐて、何處からともなく閑古鳥の寂びのある聲が聞えてくる、靜かな

◆早春の 落ちついた心持ちを抱いて、この森の中を歩いてゐる人が正午過ぎから二時三時にかけて、非常に多かつた

課題及募集規定

□募集規程▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲一等…に五十錢…

天氣

晴時一晴（十七日午後六時より十八日午後六時迄）▲三月十八日…

赤門印 人參規那鐵葡萄酒
朝夕一杯は身體を肥し疲勞を醫す
◎身體貧血せる人◎生來虚弱なる人◎食慾缺乏せる人◎精力減退の人
◎産後病後に衰弱せる人◎萎黄病の如き血液疾患の人に好適の飲料也
登錄商標 到る所の信用ある洋酒食料罐詰店にあり
發賣元 大阪 小西商店洋酒部

東洋捕鯨株式會社特約販賣店 鯨問屋 香月商店 京城府明治町二丁目四 振替口座京城四八四六 ◎特約店希望の方は申込あれ

丈夫で安い實用靴 ボックス革製
編上靴 乙三圓四十錢 甲四圓四十錢
深護謨靴 乙三圓七十錢 甲四圓七十錢
半靴 乙二圓九十錢 甲三圓九十錢
御注文の節は足袋文數と種類御申越あれ代金引替小包で送る
陸軍御用 東京牛込肴町六〇 ツブク靴店

紳士の頭髮を飾る 高等煉香油 二葉ポマード
此ポマードは頭髮を艶せず調髮は思ひのまゝ貴婦人は申に及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店

夏物品揃
蚊帳 蒲團 夏座蒲團地 諸綿 麻布 毛布 縢掛
印 敷島枕蚊帳 ぬいめなしかや 發賣元
大阪本町壹丁目角 西川甚五郎商店
電話本局長五五八番 振替大阪五五九四番
本店 近江國八幡町 支店所在地 東京 京都 大阪 分栫 築
相場表御申越次第送呈

資本金拾萬圓 長春錢鈔株式會社
金銀交換外國貨幣外物取引及有價證券賣買並に其仲立業
右不拘多少御用命願上候 電話七六一 二九番 四一一

專賣特許 今橋式自働 敷島精米機
他精米機ノ企テ及バザル多數ノ特長 ―搗減僅少 ―精白迅速 ―發熱皆無 ―動力少量
實用新案 今橋式自働 八千代精米機 說明書進呈ス
大阪市西區江戶堀北通三丁目 株式會社 今橋商會

魚釣具及投網 卸賣小賣 京城永樂町貳丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京四三一八番
◎鳥捕用カスミ網各種あり（御申越次第定價表進呈）

美顏ユーマー 桃谷研究試驗所創製の美溶液にして品質優秀世の信用最も厚し

……あり長女君（？）三女八重（？）の實子を手拭にて絞殺したゞ〻矢ひ居れり（大阪特電）

……三十五番の順序を立て兒童得意の流暢なる國語を以て一般參觀人を驚異せしめたるもの多かりしが當……

◉彼岸と法要 京城本町二丁目淨土宗開敎院にては十八日より二十四日まで一週間……

大連に於ける市場

◇改善及び增設の必要あり◇

物價調節の一策として公設市場の成立は今や各方面に於て其の必要を認むるに至れるが大連に於ても亦之を說くもの多く官憲も最近その調査に著手せり大連には

◇二個の市場 あり信濃町に在るを第一市場、山縣通に在るを第二市場と稱するも第二市場は不振にして有るか無きかの有樣なり何れも魚類と蔬菜を販賣する魚菜市場にして市中の商店又は雜貨店に比し其の販賣價格は幾分低廉なるも地物又は輸入品が此の市場に送らるゝ迄には二三の機關或は商人の手を經る爲め仕入相場の高低によりて市場の價格も常に變動し殊に物價騰貴の今日その趨勢に煽られ若くはその趨勢に乘じ品物に據りては三倍以上の

◇突飛の珍値 を現はすこともあり平均して約四五割の高價を示し『市場物も斯う高くなつては遣り切れない』との嘆聲を市民に發せしむるに至れり魚菜類は冬季地物是れなく多くは之れを輸入品に待つため仕入地の價格騰貴につれ其の相場の高まるは怪しむに足らず四月以後地物の現はるゝに至らば自然低落すべきも市場組織に種々の缺陷ある爲め市場內の商人に於て勝手に價格を定むる弊風行はれ輸入品の運送手段に就いても不行屆の點尠からざれば先づ是等に改善を加へ更に進んで之を公設市場とすべしとの提議をなす者さへあり現在の市場は官設にして其の建物は官より貸與され市場組合なるものありて其の內部の處理を爲しつゝあるも此間

◇種々の情弊 ありて一刷新の必要なることは消息通の認め居る所なり最近大連附近の農家側は生産者自身には別に野菜市場を設立せんと計畫し之れに對して現在の市場連中は盛んに反對運動をなし右の計畫は其の後行惱みの姿なれるが斯る計劃の起るに徵するも現在の市場組織及び內部に缺陷多きを推測するに難からず元來市場は消費者の爲めに食料品又は日常必需品を出來るだけ安價に供給するを目的とすべく市場內の商人に無法なる利益を貪らしむるが如きは堅く之を戒めざるべからざるに多少この目的に背馳せる傾向の往々ほの見ゆるは遺憾に堪へず而して是また市場改善乃至公設市場建設の聲が近來大連に高まり來れる一原因なりとすべし

◇市場の增設 は之と共に又必要なる問題にて第二市場たる山縣通りの市場の不振なるは不振ならざるを得ざる理由あるを以て是れにも改善を加へ生産者側に於ても是非とも別途に野菜市場を設立するの決心あらば一定條件の下に之を許可するも可なるべく一昨年來著るしく發展せる大連市の狀勢に鑑むるも在來の市場にて足れりとするは固陋の見に過ぎずと一般に見做されつゝあり

時局迫りて 三省嚴戒

◇獨墺露人に對し◇

東三省は露國と接壤し目下國防上の危殆に瀕せるより三省督軍協議の結果敵國人の侵入を防止する爲め獨墺露の何國人を論ぜず護照なき者は一切入省を許さず且つ將來時局の解決するまで各國人共護照下附を中止する事となし一方各海關及び國境各驛に通電して船車到著毎に嚴重に檢査を行ふ可きことを命じたり

第二の撫順と目せらる 奉天新丘炭田

◇滿鐵の手にて開掘さるべし◇

第二の撫順と目せらるゝ奉天省阜新縣下新丘炭田は種々の沿革を經て滿鐵の手に歸したる以來更に調査を遂げつゝありしが該炭坑の採掘は運炭鐵道線の如何によりて殆んど其の價値を左右せらるゝものにして最も愼重の注意を拂はざるべからざるは實にこの點にありされば日支合辦事業として經營するは日支相互の最も得策とする所なるを以て結局實現の期遲からず到來すべく之に關する協議は漸次進捗しつゝあるもの如し

荒荷置場整理

仁川稅關構內にある荒荷置場は從來荷物の停滯區々にして殆んど一般組合員一を缺き或ひは六箇月一年の長期間を占有する者ありて一般組合員の使用に不公平なるを免かれず之が爲幾多の支障を來すとの聲ありしが今回愈々之等の整理を斷行し以て其の使用の公平を計らむとし去る十三日荒荷置場組合の總會を商業會議所に於て開催し諸般の打ち合はせを爲したる結果組合員にして從來一定の置場を久しく專有し來りたる者は此際直ちに荷物の撤退を爲す事に協議し將來に於ては最初の定められたる規約に基き一箇月以內と其の使用期間を嚴密に制限し若し此の期間を越ゆる者に對しては相當の使用料を徵收する等置場の整理に就て協議する處あり尙ほ之が整理を爲す爲め實際組合員の費用を徵收する事に決し午後四時散會せり之に依つて從來不公平の聲ありしものも近く整理さるゝに至るべしと

兼二浦と電燈

兼二浦電燈問題は屢報の如くなるが平壤、兼二浦、京城の各有志合同にて愈々事實として出現することゝなり兼二浦側發起人福田榮治郎、常石周一の二氏は京城側有志と打合のため三月十五日京城に赴けり

平壤壯丁檢査數

平壤に於ける大正七年度の壯丁檢査は四月四、五日の兩日に互りて步兵第七十七聯隊構內下士集會所に於て施行せらるゝ筈なるが四日は第一師管下より第十師管下の九十三人、五日は第十一師管下より第十八師管下までの百六人にして總人員は百九十九人なりといふ

春が來た、はるがきた。野にも山にもあたたかい春が來ました。今日は日曜のおひるすぎの奬忠壇公園の見晴しはこんな可愛い小坊ちやまや嬢ちやま達で賑つてゐました（十七日）

◇シベリヤ譚

◇風寒き千里の曠野に 氷原を渡る內田大使◇

北滿から西伯利亞方面へかけて風雲はいよ/\急を告げて來た『日本はバイカル以東を……』との戶水博士の十數年前の言葉は實現されても可さ相な時代は近づいた。

◇北へ！北へ！ 日本人は北極光の下に馴鹿の橇を走らせねばならぬ『往かうか、もどろか、オーロラの下を』露西亞は寒國果知らず』西伯利亞といふ土地も却々情味の豐かな天地だ。哈爾賓から東清線で西伯利亞に向ふと沿線は眼路の限り萬里の曠野、興安嶺を越ゐるとあたりは一帶に純蒙古地帶となる。其處此處の蒙古人の天幕ステーションに山と積まれた牧草西園の風物は荒涼たるものとなつて來る、哈爾賓から五百八十哩を經て露支國境の滿洲里に來ると此所は今支那の守備兵が露の過激派に備へて居る所だ、國境を越ねて西伯利亞に入ると例のダウリヤ、ハラノール驛附近の鐵道を破壞されたあたりとなる此の邊は今反過激派のセミヨノフ大尉が過激派と

◇盛んに應戰し つゝある處だ、西伯利亞に入ると沿道はモウ白樺や落葉松の大森林、巨木の枝が皚々たる白雪に押しつけられて何れも下に垂れ下つて居る、森林は山と云はず平野といはず汽車の行手に何處までも續いて、あたりの雪にはまた大氷原のやう、人の足跡もなければ熊の寨のあとも印して居らぬ見るからに荒涼寞たる風光である行き行きてカイルムスカヤ驛に著と此所からは北の方黑龍江沿岸に迂廻するアムール線の分岐點となる、內田大使も此所から迂廻してハバロフカ方面に出ると評判になつた所である此らあたりチョイ/\隧道もある時には

◇奧の大砂金鑛 から來た英國の鑛山師が一枚何千圓とする毛皮の外套で一等室にのさばり反るのも此のあたりだ、全く以て黑龍江の上流は砂金等の鑛物からタングステン、モリブデン等に富み且つまた歐洲へ供給される毛皮に滿ちて居る、汽車は往き/\てチタ市に著くチタは後貝加爾州の首都であつてインゴダ河が流れて通ずる要衝で人口約二萬人、日本人は三百人から居た、此のあたりは例のブリヤート族の居るところで開戰のはじめ

◇歐露に日本軍 が出たと傳へられたのは正に此のブリヤート人である、彼等は髮も黑く眼も細く日本人そつくりのシベリア蒙古族であるその他昔時歐洲を席捲したる勇敢な韃靼人も居る、韃靼人は禮拜堂が個々數で露國の颶風なると對立して居る（東京大使館生）

料理の秘訣（二）

安い物を買入れる法

◇自分で出掛て行くと經濟利益がある◇

地方は兎に角、都會の地ではその日その日で物の相場が變動して居ります。殊に魚類などは最も烈しいもので、昨日十錢で求められたものが今日は二十錢出しても無いものがありますそれかと思ふと今度は反對に昨日二十錢であつたものが今日は十錢で買へる事もありますから云ふ風に日々の相場を云ふものがあるから

◇なる可く相場の安い いつも求めて料理の◇

の材料をせねばなりません。それにはどうしても主婦自身で買出しに行つて魚屋の店頭にも立てば八百屋の店頭にもたつやうにつとめねばなりません。或有名な某氏の夫人は大勢の家內の世話をする傍ら買ひ物には必ず御自分でお出かけになり信用のある大きい

◇店に行つて値段に よつて見つくろつて買◇

ひ入れて居られます夫人のお宅は郊外にありますので近所の店で買へば品が惡しくて値段が高くその上品數が少いので撰り好みの自由も利かずそれかと云つて御用聞の手から買ふと値段の法外もなく高いのであります。それでお宅から十町もある所迄出て行かれるのですが何分忙しいお身體のことですから遠方に毎日出掛ける事も出來ないので

◇一日おきに行つて 二日分づゝ買つて來る◇

から云ふ買方に改められましたらその利益は

一、今までに比して約三割だけ食費を節約することが出來た。

二、新しくして上等の食料を買ふために料理が美味しくなつた。

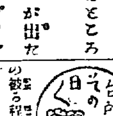
◇三、出かけて行くと 材料を見ながら獻立の◇

獻立が直ぐ出來る。

四、出入商人と違ひ氣に入らぬものは買はずに歸る事も出來る

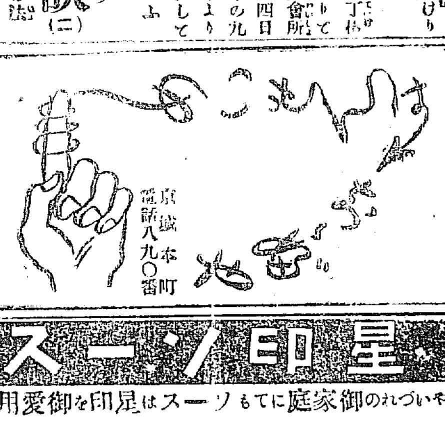
五、一軒の店に行つて無ければ次の店に行つて買ふ事が出來る

少くともざつと右のやうな便宜が得られましたさうですがそれは何地に拘らず自分で買ひ出しに行くとこれ丈けの利益は得られるのであります。そして出入商人から買ふのとちがひ買ひ過ごしなど云ふ虞れもないのであります



◇蕪の牛乳煮◇

蕪幾つかの皮を剝ぎ四つ五つ位に切りたる鍋に入れスープ（牛又は鳥の煮出汁）をひたひたに被る程加へて火にかけ少し弱めの火で煮込みます大分やはらかになりましたら牛乳を加へましてそろ/\と煮ます恰度ホワイトソース位の濃さになりましたら……



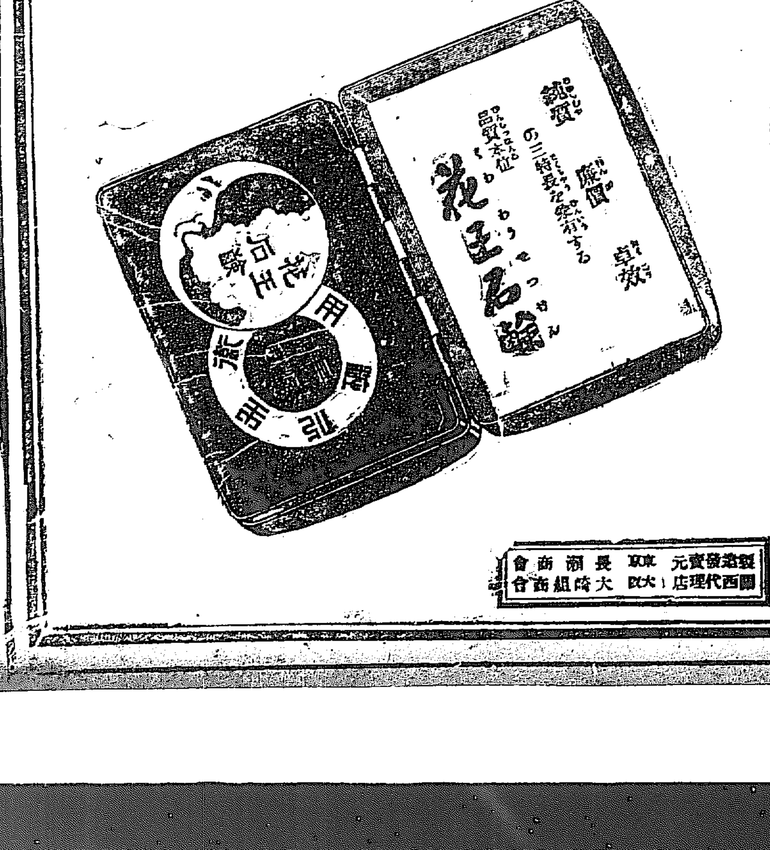
星印ソース
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質に於て行き亘る全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
ソース界の明星なり
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

北海材荷着案內
一鹽地栓楢櫻柱杉
一栓板機械挽
洋家具材 京城黃金町一丁目
用材 本明雜木店
電話三一七五番

京城本町二丁目 川合時計店
電話二九一八 振替京城一二一九

タイヤ 一本壹圓九十錢
大阪ゴム製造所
電話西一九二四 振替大阪二七〇五

強胃消化錠 ヨーゲン
特約店 京城南大門通二 新井藥房



良藥 たんせきセキドミン
壹拾五錢 貳拾錢 五拾錢
京城日報社代理部

THE SAFETY "PINE" FOUNTAIN PEN
新機軸の萬年筆
始めて工夫された特許防破裝置
絶對にペン先の保護された
パイン操出式萬年筆 金六圓八十錢也
此式のペンは縱横如何に不注意に携帶せらるゝも快してインキの流出することはありませぬ使用終りましたるときこのペン軸に附屬して居ります特創の鞘帽を右に廻せば螺旋ハ動作によつてペン先は自らペン軸內に引込む此の時キャップを上部に裝すればインキの流出するを防過致すからでムいます因みに此形は萬年筆中尤も最近に工夫作製せしものでありてまず且ペン尖が極めて軟かなる故太くも細くも自由に字體を作ることが出來て日本文を書くに尤も妙です殊に鳥の子又は改良紙にすら良く適して極めて便利でムります
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

發賣元 大阪 東京 藤澤樟腦本舖
各地小間物、化粧品店、雜貨店にあり

淋疾內用
ブレノリン
ドクトル松本僖一郎先生の創案により製出したる本品は速に體內に吸收分解せられて尿に强烈なる殺菌防腐性を與へ兼て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。
急性慢性淋疾 消渴、膀胱、尿道加答兒等に賞用せらる。
宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻贈呈す。
粉末錠劑の二種あり各地有名藥舖にあり
東京室町 三共株式會社

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第十九席

さて塚原小太郎勝義は赤城明神の試合に打勝つと日本一の譽れを得上州箕輪へ立歸りましたが、心に驕かゝるは綿井新十郎が用ゐた天狗飛切りの術、播州花隈の城主戸澤山城守といふ人は此術を工夫した無双の達人であるとの事此人を訪ね其教へを受けたら宜からんと云ふ恩師の言葉、小太郎喜こんで一門の人々に別を告げ、箕輪を出立することに相成りましたが師伊勢守が『尾州熱田に小笠原丹波守といふ社家の人で弓の妙手が居る、此人は亦手裏劍も能く致す樣て試合をして見たいと思つて居たが據なくして打過ぎた、是非立寄つて試合をいたすやうに、倘大和路には初瀨の僧にして千手院光雲南都は寶藏院覺禪坊を初めとして一騎當千の武藝者が居る、一々訪ねて手合せをいたし、其流派の秘とする所を探ぐるやうにいたせ』と弟子を思ふ伊勢守の心付、小太郎一々畏まつて茲で出立をいたしましたが道中別段のお話もなく中仙道を上つて參りまして木曾の鳥居峠へ差懸りました時は三月下旬春とはいへど此邊は未だ寒くして東海道筋とは違ひ人通りも餘りない峠を上つて來ると雨がパラ〳〵降つて來た小『ハテ雨には困つたな、峠を越さねば旅宿もなからうが大した降りにならねば宜いが』と獨言をいひ乍ら足早にやつて來るとモウ日の暮れ方の事で中仙道名代の難所、足場の惡い事一通りでございません、山の頂に御嶽神社の遙拜所が出來て居て華表が立て居る、傍らに差懸けの小屋も見ゆる雨宿りをしようと思つて急いで上つて來ると此の小屋の中に固まつて焚火をして居るのは十五六人の雲介、雲介といふと駕舁の事ですが駕舁は付たりで山賊が本業、薄暗くら峠路に網を張つて往來の旅人を引捉らへ、衣類金錢を捲上る、此頃は生憎仕事もなく詰らない顏をして焚火をして居る所へ小太郎が上つて來た○『ヲイ兄弟旅武士が來たやうだぜ』△『さうか、ウムまだ若い奴だな、大した仕事もあるめへがどうだい一つ引叩いて見ようか』『宜からう』ドカ〳〵ドカと出て來た小太郎驚ろいた、人氣のなさゝうな所から突然に十五六人の男が飛出したのだから驚くも無理はない、思はず立止つて笠を傾けジッと見て居る一人の雲介が雲『オイ若いお侍、其んなに驚く事はねえ、此方は人間だ鬼でもなけりやア天狗でもねえ、駕籠を舁いだり馬を引張つたり道中で稼ぐ雲介だから安心して此方へ來ねえ』小『ハア雲介か、イヤ別段拙者が驚ろく澤もない唯だ然に貴樣達が出て來たから何事が初まつた者かと思つたばかり』○『忠に沈著た野郎だな、お前は俺達が何んで愁うして此處に店を出して居るのか其譯を知つて居るか』小『アハヽヽ、恩にもつかね事を申す奴だ、雲介ならば駕籠を舁ぎ、此方ならば馬を勸める往來の旅人を對手の職業、貴樣達が固まつて居るのはいはずとも知れた事旅客を待受けて居るのではないか』○『ヤイ〳〵此畜生何にをいやアがる其りやア雲介だから駕籠を舁いだり馬を引張つたりするのア當りめへよ、手前に聞かねえでも分つて居らア、其外に職業があるんだ、其れを知つて居るかといふんだ』小『ハア其外に職業がある、其れは感心だ、當時は物價も高く却々生活に骨が折れるに依つて貴樣達までが二足の草鞋を穿いて稼ぐ、併し何うも見受ける所餘り氣の利いた職業は出來ぬやうだな、夜に下駄の齒入れでもするか』○『此宵二才奴言はして置きア利いた風な事を吐しやアがる、誰が下駄の齒入れなんどをするものか、此方等は山を寢床に中仙道の宿から宿を股に懸け荒ッぽい仕事をするのが職業だ、通り懸つた其方の不祥身ぐるみ脱いで置いて行け』

▼彼岸灸鍼▲ 狩野治療所 本町二丁目三井物産組横燈籠屋ノ横へ入ル

女髮 生徒募集 日本全國於美髮 京城本町一丁目 元祖教授三ヶ月卒業 婦人前等美髮學會 會則郵券三錢送附あれ

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進 羽根布團製造修理 鳥毛獸毛羽毛皮剝製標本買入 京城本町二丁目 貿易商 樽元商行 電話(長)二〇六五番 振替京城三四九九番

三月十九日 九星 舊二月七日 乙丑 本命五黄 八方開 友引

▲五黄 理想せざる事有[illegible] ▲六白 花のやうな[illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 理想叶 日轉ヶ旅ィ入 ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible]

演藝案内

壽舘 京城本町 電話一〇五〇

當る二月十六十七兩日午後五時より 山村連春期大溫習會 山村内吉之助

▲相生 稲住内菊江
▲姫三社 しづや内つる子
▲春雨 坂内いち子
▲京の四季 木村ひろ子
▲狂亂
▲越後獅子 (金子はる子 坂本さし子 淺田しづ子 ひろ子 しづ子)
▲園の梅 原田まさ子
▲浦島 稲住内菊江
▲御所車 清水席内あい
▲仕丁
▲北州 松葉樓内いれ
▲鶴龜 富美樂家内鶴千代、同久菊
▲老松 福や内金奴、富久栖家内久奴
▲相模海女 清水席内小太郎、小豆
▲喜撰 法師ひろ子、御迎坊主、茶くみ、まさ子、つる子、しづ子、はる子、菊江
▲落人 おかる 柴木内菊子、勘平 海老家内政次、伴内 清水席内若糸、取まき四人

黄金舘 電話二六三七 二六六 大然色活動寫眞株式會社京城黄金館一手代理店
▲當る三月十五日より ▲滑稽 魔法正宗 ▲活劇 怪傑二十世紀(スミー) 澤村四郎五郎 市川延十郎出演 ○新劇 加藤清正 全四巻 [illegible] ○泰西活劇 野火 全四巻 [illegible] ○乃木將軍臺參の巻 [illegible]

浪花舘 明治町二丁目 電話二六〇番 ○毎夜六時より開演 京阪落語若手一座語樂會 ▲落語(遊玉)▲落語音曲(笑三)▲落語手踊(遊生)▲落語音曲(花輔)▲手踊(三輔)▲落語(右圓遊)▲手踊(歌六)▲落語、音曲(圓都)▲大切 喜劇(惣出)

大正舘 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社動寫眞代理店 △當る十五日より特別大寫眞 ○滑稽自惚れ(舊劇新喜劇) ○新派 胡弓 全三巻 ○大活劇 第七號の爪 四巻上場 [illegible]

京城 壽座 電話五七八番 世界的大魔術 松旭齋天一一座出演 天下一品 [illegible] 自轉車大曲乘 [illegible] プログラム [illegible] 登場人員 男女二十名出演 ○新派劇 江戸屋兒五郎 全四巻 [illegible]

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(局上)一〇五番 米國ユニヴァーサル會社特約 ○滑稽 ヤクザ者 ○人情劇 春宵譚 全九巻 ○新派劇 新らしき女 全四巻 [illegible]

たんせき ぜんそく 龍角散 藥

たん●せき●ぜんそくに 油斷すな
輕易いたんせきも永年の難症に惱む人もスグ服藥！
これからの氣候深鬆の時のたんせきぜんそくはズン〳〵重症なる性質を帶びて居るから最も警戒しなければなりません。
たんせき たんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵して肺炎、肋膜炎など變症しやすいものです、故に
せんそく 輕い内に治療をするのがたんせきぜんそくの一番大切な事で卽ちたんせきぜんそく專門藥龍角散を早く御服藥なさい。氣分を爽かに病惱は自然と快治する。

本藥は 高家よりの御用命を受く
龍角散の偉効
○たんに常に惱む人
○ぜんそくに息切する人
○せき痰に出て夜眠られぬ人
○感冒に起るたんせきの人
○肺病に常に力なき咳出る人
○たん臭氣咋々血交る人
○小兒百日ぜきはしかぜき
○音聲かれ咽喉の痛み
○呼吸器疾患一切のたんせき
その外音聲を用ゆる人服すれば咽喉を滑かにし聲のつかれを補ふに妙
藥價 二十日分 十錢 四十日分 二十錢 一週間分 三十錢 二週分 五十錢 一ヶ月分 一圓 一ヶ月分 送料 四錢
販賣 全國藥店にあり本舖へ注文は最寄又は郵券代用に願上候
本舖 東京市神田區豐島町 製藥 藤井得三郎 電話神田二〇一 振替東京九七一八

あらゆる手當に飽き果てゝ

難病をかこつ 婦人病者も ソンナに悲觀するに及ばぬ

俗に血の道と云ひ又は子宮病と申して居りますが凡そ婦人を呪ひ婦人を惱ます事此の位執拗い病はありませんその上一番困る事は病の特質として初期の中は多くは氣付かずして過ぎます其徴候が明かになつて騷ぎ出す頃は大抵取り返しのつかぬ程度に病氣が進んである事であります、されば此病は如何なる原因から起るかと申せばそれには種々の理由がありますが、之には樣の御參考迄にその一般症状をあげて見ますとまづ耳なり、冷わ下腹引きつり差込み動悸息切れ物案じ氣鬱ぎ食慾不進便秘不眠症頭痛めまひ惡寒逆上肩凝り其他全身に氣力がなくなり妙に沈んで

これ藥物中の奇蹟とも申しめたる奇効を奏して居りますに根本からなる下山博士學士も極力稱讚せられ其他藥學博士も立派な證明をして居らるゝ譯で蓋し婦人藥としては全く飛び離れた理想的の藥、即ち一命の母は婦人護身藥として人氣を一身に集めて居るのでありますが於蕃手流石難症の婦人血の道子宮病は必ずしも不治の病でないと云ふことになつたのであります。而して『命の母』は全國到る處の藥店に行き渡て居ります

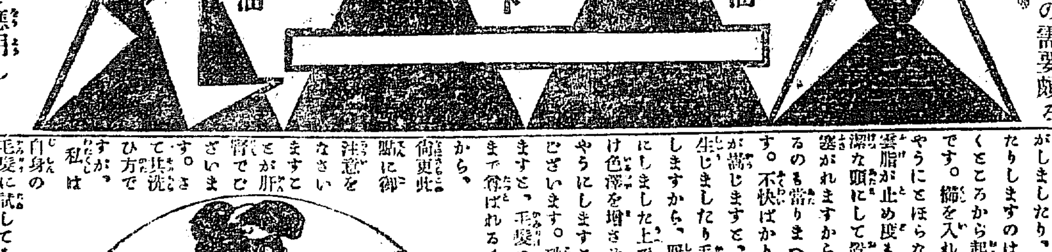
とかく世の中が暗くなり顏色は青白くして昨日の美貌今日は見る影もなく淋しく嫁を落し良人に嫌はれるのみならず種々のオリモノ則ち子宮病となり月經不順は勿論の事遂には婦人として最も恥辱なる不姙症となるのであります子なき婦人は婦人としての資格なき事は申すまでもない『子なき女は去れ』など昔から云はれて居る通り一生不幸に泣く婦人は決して其例に乏しくないのであります

されば婦人病は 全く不治の病か？

前に申上げました通り婦人病は中々治療に困難な病でありまして現に惱みつゝある方は隨分四方八方のお藥や手當を御盡しされた事と御察し申します、然しそれでも一寸も效能が現はれず最も進步せりと稱せらるゝ洋藥でさへも本病に對しては無能の効を奏する譯には參りませんさうです、然るに茲に多年の苦心研究と絶大の努力とに依つて遂に發見せられたる『命の母』は實に幾多の婦人病者を救濟し全治せしめ子寶に

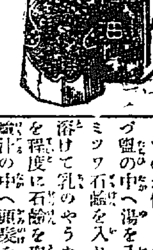
婦人病自宅療法
斯の如く婦人病は最も怖るべく遂には一身を誤らせ一命をも奪ひ去る病氣でありますから前に申しました兆候の中一つでも思ひ當る人は一刻も早く相當の手當をせねばなりませんそこで最も安心なる家庭療法として婦人科專門醫學大家が婦人病者の爲に書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本を一讀して其通り實行するのが最も確實一番には姙娠及不姙娠の原理婦人病一切の經過原因治療の方法等を最も丁寧に誰が見ても分る樣に書いてありますから何人も自宅で療法が出來ます本書入用の方は東京市京橋區新榮町四丁目笹岡省三(電話京橋二二〇一番)宛てハガキ又は電話にて御申越しあれば無代にて進呈いたします

主治効能 手足腰冷、下腹腰痛、月經不順、頭痛逆上、めまひ、ヒステリー、子宮内膜炎、白帶下、食慾不振、つわり
定價 ●試用分 十錢●二日分 廿五錢 一週間分 八十錢 二週分 一圓五十錢 五週分 三圓 十週分 五圓



毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として内外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絶對的黑色養毛に適し實に遺感なき……現代理想の―椿香油なり

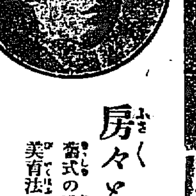


大阪西代理店 平尾レート
本舖東京 平尾パール

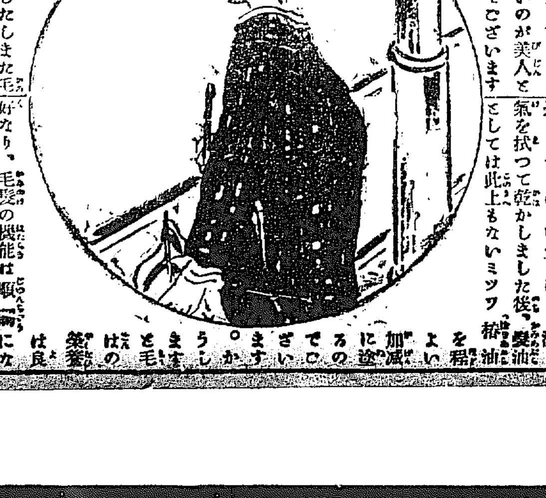
房々とした黑髮

著式の洗髮法は毛髮の害 美育法に最も適つた洗ひ方

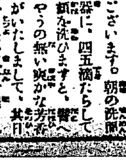
尾上菊五郎談



頭腦がムシャクシャして厭な氣持がしましたり、上氣せて眩暈がしたりしますのは頭を不潔にして置くところから起ることが多いさうです。櫛を入れましても齒が思ふやうにとほらなかつたり、掻けば雲脂が止め度も無く出るやうな不潔な頭にして置きましては毛孔が塞がれますから、不快な氣分になるのも當りまへのことでございます。不快ばかりなら未だしもこれが嵩じますと、裂け毛や折れ毛が生じましたり毛髮が赤ちやけたりしますから、度々洗ひまして清潔にしました上で、毛根の榮養を助け色澤を增させる滋養分を與へるやうにしますことが非常に大切でございます。殊に御婦人方になりますと、毛髮の美しいのが美人と迄て稱ばれるくらゐでございますから、倚更此點に御注意をなさいませ、とかく肝腎でございます。其洗ひ方で、さて其洗ひ方ですが、私は自身の毛髮に試して見ましたし毛髮の美育に注意をなさいます御婦人方の御經驗も伺ひましたが、彼是思ひ合せまして一番理想の洗髮法としましては、優良の品質を備へ少しも刺戟の無いミツワ石鹼をお用ひになつて、月に二三回洗ひますのが何よりでございます。先づ盥の中へ湯を入れまして其中へミツワ石鹼を入れて置きますと、溶けて乳のやうな汁になりますの程度に石鹼を取り出し、此の石鹼汁の中へ頭髮を頭の地の浸ります位ドップリと浸しまして二分間程置き、それから髮を掻き分けて頭の地を石鹼汁をつけた刷毛で擦りまして、一わたり濟みましたら櫛に此の石鹼汁をつけては梳し梳ししまして、髮がしつとりとなりましたらお湯で流して石鹼氣のない樣に洗ひ流しますと頭の地は淸々とし、毛髮は柔軟に生々として艶が出ます。それが終りましたら毛髮にさからはないやうによく濕り氣を拭つて乾かしました後、椿油をよい程加減に塗つてまでございますとかうしますと毛の艶は良く、髮は房々とした眞黑な色艶の毛髮になります。



尾上東嶽曰く 一つとして、無くてならないものは、家庭用品の香水のミツワ花の露でございます。朝の洗顏器に、四五滴たらして顏を洗ひますと、簪へやうの無い爽かな芳香がいたしまして、其日一日快い氣分で居られます。また夜寢みます際、夜具の襟、脱布などに振りかけますと、不潔な床しい薫がいたしまして安らかに快く眠ることが出來ます。



（ミツワ文庫、七三）

家庭治療法 醫學士 小山田 識稿
本書は日常の衞生法を示し、罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである
定價金五拾錢。但其半額を添へ御申込あれば一冊送呈す。
東京日本橋區通一丁目 丸見屋商店(振替東京七一〇番)

京釜線（南行）　同（北行）　京義線（南行）　同（北行）　湖南線　京元線（南行）　同（北行）　京仁線（仁川行）　同（京城行）　[illegible]

第五版

京城日報

十八日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 一部金三錢 一ケ月金六十錢
廣告料金 五號活字一行金五十錢
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話 編輯 長 三四五番 一二二四番
印刷人 小田川三之助

近の消費額は年々約五六十萬斤に[illegible]要に比し品質粗惡なるのみならず價格不廉にして消費者は何れも[illegible]随打撃を受け頻りに内地製品[illegible]品に遜らざるものを得るに至[illegible]聞く倘此他にも[illegible]の内地[illegible]場に現るゝあり之に依りせる[illegible]十六萬斤[illegible]萬斤に達し[illegible]三四十[illegible]するに於ては斯業の前途[illegible]望なるものありと（東京）

[illegible]一方原料狀況の[illegible]とて上げ足急激にして一方福井品[illegible]に比し格高を示せ[illegible]るに拘らず買人氣の旺盛[illegible]に最近は[illegible]送り方針を脇念[illegible]發表なり要するに娑許羽二重界の[illegible]

遊支偶録

（七）體面的虛飾

蘇峰生

一方に、受動的抵抗あるかと思へば、他方には體面的虛飾あり。凡そ支那人種、一本調子にて參らぬものはなし。若し支那人を目して、唯だ欲得打算のみの、實利的動物とせば、そは餘りに支那人を單純視したる也。實利と、虛榮とは、彼等が雙肩の荷物也。其の何れが輕く、何れが重き、容易に判定す可らず。

面子なる語は、上は大總統より、下は苦力に迄適用す。是れ實に支那人を支配する、法律以上の法律也。彼等が日常の起居動作、經營努力、一として此の面子の觀念に、支配せられざるものなし。之を大にしては、宋朝の古、富弼が、契丹に向て、貢物を輸しつゝ、獻納の二字を爭うたるも、此が爲め也。今日に於て、生意氣の學生が、三等汽車に乘らずして、二等に乘る。亦た此が爲め也。

若し支那人は、實利的人種なるが故に、其の面目玉を踏み潰すも、差支なしと思ふ者あらば、そは非常なる謬見と云はざるを得ず。實利と、虛榮との選擇に就ては、支那人も迷ふ可し。されど彼等の虛榮は、少くとも實利と同等の、價値ありと知らざる可らず。

されば支那人に取りては、其の心中に於ては、百も承知し居る事ながら。唯だ其の體面上、相當の文句を並べ、苦情を唱ふるが如きは、決して珍らしき事にあらず。一方に面從腹否の性格を有する支那人は、他方に面否腹從の性格を有す。而して此の兩個の性格、交互錯綜して、一種不可解なる支那の國民性を構成し來るが如し。

支那人に交らんと欲するものは、須らく彼等の實利を、尊重すると與に、其の體面を毀損せざることを、勗めざる可らず。人は弱點に於て、他と繫る。支那人の虛榮心は、寧ろ支那人の美點と見て可也。

都督府の米麥輸出制限

本社大連特電は關東都督府の、十六日附府令を以て朝鮮米無制限輸入の條件として、關東州及び南滿洲鐵道附屬地より、特許を得たるもの、外米麥の輸出を禁止したるを報せり、是れ曩に朝鮮總督が米麥を以て輸出制限令中に加ふるに當り、滿洲支那等に在留せる邦人の食料に對しては、特に詮議の上輸出を許可すべく發明せるに拘はらず、關東都督は、斯くても尚在留邦人の不便を慮り、需要地たる其管轄地域を以て、供給地たる朝鮮に合し朝鮮總督の發したる輸出制限令の施行區域を擴大したる狀態に置きて吾人の大に歡迎する處なるが、而かも此一事、非常の時機に際して特別の取扱ひを爲せるものなるに想到せば、些か物足らぬ心地せざるにあらず、他に故無し一切の需給關係に於て、朝鮮と關東州及び南滿鐵道附屬地とは、之を同一圈内に置かれざる可からざるを信ずればなり、固より前者は我領土にして、後者は租借地のみ、故に大連の自由地域を除きては、支那の承認を得るにあらざれば、關税の障壁は之を撤廢する能はざるを知る、然れば此儀は、吾人が野蜀の念として、姑らく論議の外に措き、關税の壓迫に堪へざるべからざる前提の下に於て、彼我統治機關の裁量に依り、相互物資の需給を圓滑にし若くは自由にする方法を講ずるのみにして、鮮滿兩地在住邦人の享受すべき利益は、蓋し計數を超越せるものあるべし、例へば石炭の需給に於て、滿鐵會社が從來の行懸りを一擲し、其附屬地に對して特に使用せる地場炭の如き、朝鮮に布く鮮滿なる言語を、等しく恰も今次米麥輸出の雅量を示さば、都督府の執れる處置の如く一方を害することなくして他方を益し、斯くて其品種の増加するに從うて有無相通の惠澤は、益々鮮滿鐵道の統一、鮮銀の東拓の滿洲進出に依りて、既に經濟關係の大綱を就せるに當り、所謂水も洩さゞる伸を成るや必せり、吾人は關東都督府が、朝鮮總督府の承認を求めて公布したるべき米麥輸出制限令除外の條件たる都督府令を見るにつけ、之を偶然設けられたる特例に過ぎずと爲し、閑擱に誚め畢るの甚だ忍び難きものあり。

宋以前の繪畫（八）

於京城倶樂部 今關天彭氏談

丁、畫人傳と短評（前承）

呉道玄と同時に李思訓、王維が出て、盛んに山水畫を畫き出して、これより山水畫は勃然として興隆し、やがて人物畫の席を奪はんとする有樣となつた。李思訓は唐の宗室で、細かいしかも勁い皴法で山水を畫き、それに青綠の石綠其、金粉などを使ひ、所謂金碧山水を創めたのである。又子の昭道は一層細かな描法を用ひ、後には青綠の生地の細へ金碧で山水を描いたと云ふ事だ。この畫風は主として展子虔、閻立本から來たのであるが、宣淡の畫法を創めて拘研の法を一變し、主として神韻縹緲な、さつぱりとした山水畫を畫き出したのが王維である。後世この派を南畫若くは文人畫と云ひ、前の李思訓の派を北畫と云つて居る。

李思訓 著色山水、用金碧輝映、自爲一家法、其子昭道、變父之勢、妙又過之（歷代名畫記）

王維 胸次瀟灑、意之所至、落筆便與庸史不同（宣和畫譜）

この外動植では馬の名手に韓幹があり、韋偃も頗る名手である。また牛には韓滉、戴嵩があり、花鳥には邊鸞がある。邊鸞は唐代第一の花鳥家で宋代の花鳥はこの人から流れ出るのである。唐が亡びて五代となり山水畫家、花鳥畫家が簇出したがこれは宋以後の繪畫に大關係があるから次回の講演に讓る。

曹霸 曹霸人馬、筆墨沈著、神采生動（圖畫見聞誌）

邊鸞 唐人花鳥、邊鸞最爲馳譽、大抵精於設色、穠艶如生（畫鑒）（終り）

讀者漢詩集

送滄海先生帝都 國分高雅
滄海先生帝者師。揮灑翰墨偉乎辭。詩如陳揷六朝、文似韓與八代衰。[illegible]

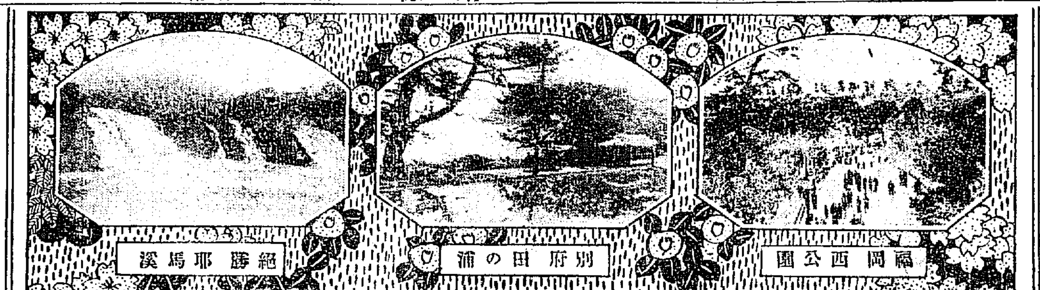
和國子美南山懷古 瀬村桂五十郎
中原父老望龍旌。魏闕浮雲事已非。千歲皇陵雷雨夜。劍光猶向朔天飛。
（評語）[illegible]

書堂招飲偶有所作 兒玉櫻井勉
呉江佳味到灘東。蒲酌從他雙臉紅。安得餘生如醉蟹。陶然長在酒壺中。
（評語）[illegible]

潮見湯 小倉信近
[illegible]

送書生詩宗游勝邦 天樂 竹内正志
[illegible]

[illegible] 松田甲
[illegible]



九州視察團

福岡 九州沖繩物產共進會
久留米 全國發明品博覽會

◆共進會及博覽會見學こ活氣横溢の新九州を視察研究す可く九州視察團を決行す
◆團體は四月十五日京城發往復二週間廿七日著此間遺憾なく陽春の好季を利用す
◆視察地は下關＝門司＝大里＝小倉＝八幡＝福岡＝久留米＝熊本＝鹿島＝大分＝別府等
◆汽車汽船は往復共二等旅館は各地必ず第一流を撰定し紳紳團の體面を保つ可し
◆團員は全鮮各道に亘り有爲有資の日鮮人を募集網羅し四月十日を以て締切とす
◆會費は金八拾圓と定む希望の方は其内金參拾圓を保證金とし提供申込まる可し
◆主旨＝計畫＝規定＝日程等は逐次紙上に發表御一報あれば詳細の印刷物を贈呈す

主催 京城日報社 每日申報社

錺（かざり）

布施生譯

二十二

それからは平生の通り毎日師匠と對坐に仕事場で細工を致して居りましたが、私はもう師匠には氣味が惡くなる、成るべく口を利かないやうに致して居りますと或日師匠は何思つたか今迄丹念に手を入れてゐた立派な細工物をざしんとばかり抛出して突如すつくと立上りましたが呆れてゐる私を見卸すと苦笑をして『江ゝ畜生め、何時迄如此して手前と睨競をしてゐるんだ。手前はまだ精が盡きないか、己はもう精も根も盡きて此上幾日もこうして居たらどうやら狂氣になりさうだ。此上は仕方がない洗ひ渫ひ言つて聞かせるから、氣味は惡からうがどうか我慢して聞いてくれ』と師匠はこう言ひさして物に憑かれたやうな眼付をしながらぐつと天を睨みました。

暫時して師匠は言葉を繼ぎ『よく世間で母親が懷胎中に精神を動かす事があると腹の中の子が其感動を受次ぐと云ふがそれも或は眞實かも知れない、兎に角己は妙な星廻りの下に生れたもので己が母親の腹に這入つて八月になつた時分母親は名高い謝肉祭のお祭を見に出懸けたさうだが其處で圖らず出會つた或る貴族の若殿様の顏に餘りに魂惚込んで身慄が出る程に苦しくなつた、其の若殿様と云ふのは其前の年母親がお邸に奉公してゐる時何かと口說かれたのを母親が心強く振切つてゐたのだから今母親が度々若殿様を眺める樣子に氣がつくと母親の心が溶けて自分に思を通はすものとでも思つたか其塲で傳手を求めて言寄つて到頭翌日人通行の少い公園で出會ふ事にした、約束通り出會をして男は緊乎母親を抱緊ると母親は男の頸飾に取附く、其途端男は心臓痲痺でも起つたのか原因は今でも分らないが兎に角うんと一聲其儘に仆れて死んでしまつた、母親も機會に引倒されて仆れたがいくら起きようとしても男の緊乎握緊めた手が離れず艶の消ねた眼を開いて母親の顏を見詰めてゐる恐ろしさに母親は思はず聲を立て人を喚んだ、驚いて駆著けた人々がどうやらこうやら母親を男の手から引離して家まで送り屆けたが母親は其儘寢就いて枕も上らぬ大病の中に己を早産した、母親も生命は危なからうし己も到底育つまいと謂けれたのが不思議に二人共助かつて己は段々大きくなつた。

資本金 壹百萬圓
積立金 參十一萬五百圓

株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八、四八一、三〇七 振替京城一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬

南大門支店 振替一六〇六番
本町支店 電話六二番 振替五七四番
仁川支店 電話一八六番 振替三八五〇番
平澤支店
群山支店
東大門出張所

茲に注目すべき新富源あり□收穫品時價□にて買入る
農家は勿論官吏商人も見よ苟しくも些の空地を有する者は之を試みよ
前代未聞菊判文字五號總頁九十五錢 郵税六錢

最新刊 三版 大増刷 高評
重要 藥草栽培と其販賣法
試作用種子六種進呈 商家官吏の少閑栽培は四季珍花を眺め娛樂的園藝として利益頗る多し…
栽培は僅に穀物の三倍儲かるサフラン一反歩年純益金二百圓…
東京九段 振替口座東京二二四七二番 殖產協會出版部

聽買入札
一、夏服外十九點
右ハ入札希望ノ者ハ本日以降縣督府官報ヲ見ヨ
大正七年三月十六日 警務總監部

最新刊
書名 著者 定價
新簡易實用的強健法 伊藤銀月 九〇
理想の子守法 北濱 一〇〇
住宅家相之話 上 葛野壯一郎 一三〇
茶話 讀賣新聞社 四〇
非子私纂並講義 土屋弘 一一〇
日蓮宗派逸話集 東京研究會 一二〇
神秘口よせの術 雙龍軒先生 一二〇
文字の敎へ方 後藤朝太郎 一五〇
一九〇五年伯林出版 現代の八大強國 長田新譯 一〇〇
支那の眞相 大河平隆光 一七〇
甦れるまで 佐久少佐 一二〇
小生の手紙 大町桂月 一三〇
小說の作り方 生田秋聲 五五
商業學校受驗及第秘訣 學藝研究會 六五
誰にもできる電氣池及充電器製作法 別取[illegible] 一三五
兒童の文章力に成ける綴方指導の實際 [illegible] 一五〇
小生の手紙 大町桂月 一三〇
日蓮宗派逸話集 東興研究會 一二〇
大阪屋號 京城本町 電話六四二〇八六 振替京城二五七三

京日案內 普通五十錢一番外一回前金
外交員三名至急入用 希望者本人來談 京城本町壹丁目 守山印房
見習看護婦至急入用 希望者は來談あれ 京城明治町 久技[illegible]病院
店員入用 年十五より二十四歳迄但要保證人本人來談 京城本町武丁目 ちとふや
店員入用 年齢十五六才小學卒業程度の者但保證人 京城明治町二丁目 宇治屋茶舖
店員募集 運送業に經驗ある人を望む自筆履歴書携帶本人來談あれ 京城蓬萊町一ノ九〇 平田運送店
首藤直政に告ぐ 徵兵檢査期日切迫至急住所しらせ 別府 阪田
社員招聘 社業擴張に付商業社員數名招聘す 希望者履歴書携帶本人來社あれ 京城黃金町貳丁目九六 日清生命保險會社朝鮮支社
小使入用 年齢四十歳以上の夫婦者但市內に保證人を要す 京城黃金町貳丁目九六 日清生命保險會社朝鮮支社
恩給年金立替 五年迄利子一年半 京城若草町 光敎會裏手 國江商會
造林の好期節 苗木販賣 多少共御用命を乞ふ 京釜線芙江 高瀨苗圃
恩給年金 五年迄月利一二五 保險金三年迄即時立替 京城南大門外 山口屋
湯屋讓る 場所京城中心 湯屋 [illegible]

謹告
從來の店舖は狹隘の爲め御得意樣各位に常に不行屆勝ちと相成居り候に付き今回
器械部を 長谷川町（朝鮮銀行前） 電話長一〇六番
通信販賣部を 元器械部跡（京城府廳横） 電話三七二番に
移轉致し一層業務勉勵仕るべく候に付き何卒倍舊御引立の程御願ひ仕り候
京城本町一丁目 電話二〇一四 草々百拜 山岸天佑堂藥房

軍隊鐵道拂下品販賣
兵服、袴下、手袋、靴下類一切
紺セル春廣三揃、德川品鬼せる春廣三揃並に詰襟、紺へル及紋改造半ズボン、スコッチ詰襟折襟洋服其他新調品特に勉強御相談に可應候
新古男女御衣裳多數取揃有之候
中古品洋服類一切
不拘多少御注文奉願上候
諸官衙拂下品和服洋服商
龍山元町二丁目 金子商店 電話長一〇五番 振替京城三八一三

嫁入文庫

◇全部十二卷愈々完結◇
◎育兒の卷 醫學博士男爵 加藤照麿先生著
◎裁縫の卷 女子高師教授 喜多見さき子先生著
◎禮法の卷 實踐女學校長 下田歌子先生著
◎料理の卷 女子大學教授 赤堀峯吉先生 赤堀菊子先生共著
◎洗濯染色の卷 女子美術學校講師 山下榮藏先生著
◎編物刺繡の卷 吉田さく子先生 相川たけ子先生共著
◎化粧の卷 醫學士 古宇田傚太郎先生 水島幸子先生共著
◎娛樂の卷 齋藤鹿山先生著
◎生花の卷 齋藤鹿山先生著
◎女中使方の卷 博士夫人 加藤常子先生著
◎家政の卷 女子職業學校長 鳩山春子先生 代議士夫人 鳩山薫子先生共著
◎婦人衛生の卷 醫學博士 相馬又二郎先生著

本叢書の光榮
台覽 皇后陛下 北白川宮妃殿下 朝香宮妃殿下 竹田宮妃殿下 東久邇宮妃殿下

◎當代一流名家執筆
本文庫の執筆者は、悉く當代斯界に令名ある專門大家にして、編述周到ならざるなく、説明懇切、主婦の日常生活に缺く可からざる實際的知識を網羅せり。

◎定價至廉裝幀優美
本文庫の裝幀は絢爛優美の粹を精選し、美と相俟つて家庭の裝飾に一段の光彩を添ふ。而して定價の至廉なるは滿天下の公評也。

◎歡迎如湧註文殺到

新しき嫁入道具として目下東京に於ける歡迎は絶大也。

◎大割引全部拾圓（送料不要）
本文庫各冊の定價は壹圓、送料各冊八錢の處、一攫ひ十二冊前金御注文の方に限り全部を拾圓に割引し、御送料一切を本社にて負擔す。

◎書架の實費提供!!
本文庫の書架は、檜材白ラーク塗、高さ約一尺六寸五分、幅約一尺一寸にして、御希望の方には實費武圓五拾錢にて提供す。（別に送料支鮮九十五錢臺灣八十五錢）

◎內容見本無代進呈

東京京橋 實業之日本社發行 振替東京三六番

獨逸東漸と極東

▲不世出の英雄出ずんば斯の時難を奈何

露國革命以來の狀況 高柳陸軍少將談

歸朝の途にある

露都より引揚げ來れる高柳少將は十六日夜十一時幕僚將校四名と共に長春著一泊の上十七日正午發列車にて朝鮮經由歸朝の途に上れり其談に曰く予は昨年五月モギレフにありし露軍の總司令部に從軍せん爲め同地に赴き革命騷亂後露國軍隊の形勢一變せるより露都の形勢觀望の爲め昨年の秋露都に引き揚げ今日迄同地に留まれり獨逸軍が露都より汽車にて四十五時間行程のプスコフ迄迫り來り砲擊を始めしより露都は危險となり吾々は引揚げ來れるが予等の露都を發せるは去月二十四日にて哈爾賓迄來りたる時日は平素の二倍を要せりプスコフは予等の出發後遂に獨軍の爲めに占領されたる爲めに露獨單獨講和となり十七日講和條約成立せりと歸途列車中にて聞けり露軍の敗北は要するに革命の精神と軍隊の精神とが合致せざる結果と見るを妥當なりと思ふ露兵の弱き所以は國民擧國一致の精神に缺けたるが最大原因ならん此後不世出の英傑出でざる限り現今の露軍を復舊し得ることは當分絶望なるべく現在の國民一般の思想に大變化の起らざる限り國民皆兵など望む事は絶對不可能となれり獨逸軍の露兵に對して强きは敢て獨逸夫れ自身の强きに非ず又露兵の獨逸軍に對して弱きは兵士の思想の變化によりて弱くなれるなりとも解し得べきも遺憾乍ら英佛の兩軍に對しては獨軍强しと云はざるべからず獨逸軍の强き所以は堅き國家的信念より生じたる結果ならんと思惟す之れを想へば我國民も大和魂の大切なるを切實に感ぜざるを得ず講和當時は獨逸軍は露國の戰線に在る數は約百二十師團位なり露軍は革命後は亂雜となり歸鄉逃亡勝手にて其混雜名狀す可からず全露軍の食糧及び銃器彈藥は革命以前迄は相當に之れありたるが其の後は日々不足を告げ來れる模樣なり革命勃發後戰線に於て露兵が獨兵に銃器彈藥を賣りたるは多く事實として傳へらる露國の軍艦は露領にある間は其の儘なるも芬蘭の如き處に到らば武裝を解除せらるゝ事となり居れり何分講和條約締結せりとて獨逸の事なれば何時其の條約を破棄して彼得府を蹂躪せんとも測られず至極不安ならざるを得ず獨探の活動は最近別に之れと云ふ企を爲せるを聞かず恐らくは以前よりの計畫を徐々に進め居るに非ざるか世間傳ふる如く獨逸の物品が露都に入ると云ふ如きは全然虛報にて未だ斯の如き事なし露都にては目下盛んに留の濫發を爲し居れるがケレンスキー當時は時々財政狀態を公表せるに現レニンになりてよりは一切公表せず故に財政狀態は不明なるも露都に留の尠しなど云ふは何れも虛報にして東洋方面が價額騰貴せりと聞き多數送り來る筈なり自分等の引揚げに對し戯言に『君等が歸りて西伯利亞を占領に來る可し』などと稱し居れるも實際の露人の日本人に對する感想は知らず露都より當地迄は至極平靜なり滿洲里にてセミヨノフ大尉と會見せるも世間の誤解を避くる爲め時局に關しては一切語らず只双方挨拶の交換を爲せるのみなり各國大公使等は一度に和蘭迄引き揚げ其の後は各自勝手の行動を執れるより其の後の事は知らず東洋には羅、伯剌西爾、支那の大公使來ると聞きたり我內田大使は二三日內に來る可し自分等と同時に引揚げたる日本人は其の數全部にて三十五名なり余は之れ以外の事は何事も知らず(長春特電)

▲高柳少將奉天通過

露國の戰線に在りし我駐露武官高柳少將以下四名は十七日午後八時二十五分奉天驛著直ちに安奉線にて朝鮮經由東上せり、少將一行は三十四名にして前乘少佐、鈴木大尉、高橋大尉の四武官あり、尙ほ哈爾賓まで行を共にせし人々には三宅大尉、小柳大尉、平塚書記生、高田商會主任、大阪每日新聞布施氏、時事新報播磨氏、大阪朝日新聞太田氏等あり、片上天弦氏は病氣の爲め一行中に在らず、內田大使一行中にも在らずとせば多分露都に居殘れるならんと(奉天特電)

▲講和條約批准決議

莫斯科會議に於ける過激派代表者會議は三十票に對する四百五十三票の多數を以て露獨講和條約を批准するに決したり、過激主義の論客として知名なるグアザノーシ及び各業團體代表者は右批准決議せり(露都電報)

▲過激派要求拒絕

ブラゴエチェンスクの過激派はセミヨノフ軍の武裝を解除す可きを支那軍司令官に交涉せるが支那軍司令官は露西亞の內紛に干涉せざる旨を述べて之れを拒絕せりと(哈爾賓電報)

▲內田大使滿洲里著

內田大使は十六日午後二時チタ發十七日朝滿洲里に著せり(哈爾賓電報)

▲浦港司令官自殺

浦鹽斯德の司令官は自殺したり(露都電報)

▲獨探數名逮捕す

西伯利亞より入込み專ら軍事に關する偵察を行ひ居たりし獨探數名は哈爾賓市內警察の手に捕縛されたりと(哈爾賓電報)

▲前首相逮捕さる

北部戰線司令官は前首相リウオフ公を逮捕せり(莫斯科電報)

▲莫市民撤退開始

莫斯科市民の撤退開始され英國人は哈爾賓或ひは浦鹽に向け引揚げつゝあり(哈爾賓電報)

▲遷都準備全く整ふ

發表されたる所に依れば露都の遷都は準備全く整頓せり住民は市內より退去する事を禁ぜられ列車は總て運轉を止め、又發行を禁止され居たる中產階級の諸新聞紙は再び發行を許可されたり(露都電報)

支那の形勢

▲東淸鐵道を佛支鐵道と改稱せん

東淸鐵道は佛蘭西に讓渡し或は佛支合辦事業と成さんとの說區々として眞相を得難きも確かなる筋より出でたる說として傳へらるゝ處に依れば哈爾賓金融界の中心として又た東淸鐵道の設權を獲得したる露亞銀行(元の露淸銀行)が元來佛蘭西の資本より成れる關係もあり旁々六十五萬法の借款を爲し其の內十五萬法を以て負債を返却し殘餘を以て二法半に對する一留の割合に依る二十五萬留の新紙幣を發行し露亞銀行を佛銀行とし又た東淸鐵道を佛支鐵道と改むる事に決したりと(哈爾賓電報)

▲林公使調停開始乎

支那時局は南北妥協の外なく林公使は歸任後是れが調停を開始すべし公使は先づ張奉天督軍の態度を緩和せしむべく奉天に於て張督軍を勸說したりされば遠からざる內に時局の一變を來すべしと(奉天特電)

◎和蘭の船舶供給

和蘭外務大臣は聯合國と商議中なる經濟條約の件に關して曰く「和蘭は大船舶五十萬噸を聯合國の用に供給し米國は是れが保證として小麥十萬噸を和蘭に輸出すべく目下商議中なり」と(ヘーグ電報)

◎船鐵交換評議員會

船主側より條件提出

遞信省にては十六日午後四時より大臣官邸にて戰時船舶管理局評議員會を開き對米船鐵交換問題經過報告に引續き船舶提供に就て諮問したるが評議員側より意見の陳述あり午後十時迄政府對船主との間に具體的交涉を續行したるが提供船舶十五萬噸に對する米國側の條件は傭船料四十二志、期間六箇月、戰時保險一年以內二百弗、二十年以內七十五弗の割合にて附す可しとの事にて一方船主側は傭船料、保險料共太平洋方面の率額に過ぎざれば是にては承諾する事能はずと述べたるも結局出來得る丈の讓步をなしたる上の條件を提出したれば政府は更めて該條件を米國へ通電し其返答を待ちて決定する事とて散會せり尙十五萬噸提供船舶の割當に就ては郵船六萬噸、商船二萬噸、東洋汽船一萬五千噸にて殘餘五萬噸は社外船中三井、山下、岡田、內田、岸本、辰馬の六大船主が其所有噸數に按分して引受くる事となる可く又是れと同時に十五萬噸提供するは不可能なれば順次米國政府の船繰りに從ひ同國の沿岸貿易船に代航せしめんとするものなりと(東京特電)

◎外交調査會

十七日午前十時より永田町首相官邸に於て外交調査會開催伊東子を除く外の各委員幹事參集し審議に入り午餐を共にし引續き會議せり(東京特電)

第四十回帝國議會 (東京特電)

衆議院 (十六日)

▲本會議

(十七日朝刊二面より續く) 物價調節に關する建議案の續き有松英義氏(…)[illegible]田茂氏(憲政)より暴利取締令を否認するが故に農商務省令第二十號は是を廢止すとの一項を本建議中に加ふ可しとの修正動議を提出し是れに對し田中隆三氏(政友)再び登壇、憲政會が委員會に於て成案を可決せる了解に拘はらず今突如修正案を提出せるを詰り、委員會の經過を更に詳述し能者太氏(政友)農商務省の措置なり(…)制限を所有權の侵害なりと論ずるも法令の範圍內に於ての制限は不可なりとせず、警察令等にて所有權を制限せる例多しとて違憲に非ずとの意見を詳解し省令の目的が不可なるざる限り是を過するを相當とすと論じ、次いで川崎克氏(憲政)は所有權の侵害なりと措置の取締は政府の修正案は突如として本日政會のしたるに非ずと辯じ農相の法論を反駁し尙該令運用上の效果に就きても疑ひを挾むものなりとて述べ、岩崎勳氏(政友)の動議にて討論終結採決の結果森田氏の修正動議は少數にて否決委員長報告通り可決、沖繩縣別自治制撤廢に關する建議案、鹿兒島縣大島郡島嶼町村制撤廢に關する建議案、衆議院長與田榮之進氏(政友)の報告あり可決、以下諸願は延期し午後(…)散會せり

▲決算委員會

十六日午後二時開會、製鐵所問題に就きて小林嘉平治(憲政)成田榮信(政友)高橋光威(政友)西谷久綱(政友)諸氏等と仲小路農相との間に應答あり後大正三、四年度總決算に移り先づ會計檢查院にて指摘せるものを議題とし政府同意せる會計檢查院の報告に關し全部會計檢查院の報告を承認し次いで西政府の主張するものに關し西部稅務署に屬するもの、室蘭稅務署に於て徵收不足に屬するもの、岐阜停車場構內電氣作業費、督府の買收は政府の辯明を正とし、他は悉く會計檢查員の報告を承認するに決す次いで高橋光威氏(政友)より左の決議案を提出す

決議

大正三年度及び四年度の決算を審査するに違法不正の處置をせるもの頗る多く稅政の逆胵を見る可し兵器彈藥の賣却に關しては會計法規の正條に依らずして收支を紛淆し且つ一商事組合に對して過大の手數料を交附し影島丸、汐首丸の傭船に關しては過少の科金を徵收して不當の契約を締結し製鐵所の製品拂下に關して一手に獨占せしめ米價調節は其時機と方法とを誤りたる爲め何等效果の見る可き無く水道及び築港費補助は議會開會の近きにあるを無視して責任支出を敢てし甚しきは是れを選擧に利用せるものあり依而本院は是れを不當と認む

右決議す

高橋光威氏(政友)より右に關し縷々說明あり、柴安新九郎氏(憲政)是れに對し反對說を述ぶ柴安氏、大隈內閣の米價調節に就ては大正三年十二月の議會にて米價の下落見るに忍びずとて是れが調節に關し各派より法律建議の諸案提出され政府亦追加豫算を要求して是れを諮らんとせるも議會解散し遂に協贊を求め得ずして調節を實行せりと云はん、港灣及び水道補助の責任支出は抑々山本內閣當時の案を實行せるものなり、兵器賣却に就ては山本內閣當時泰平組合に對する手數料は多額なりしを大隈內閣に至りて引下げたり政友會に於て之れを糾彈す可くんば何故山本內閣當時に於てせざりしや又影島丸、汐首丸の傭船料不當なりと云ふも其の契約は丸內閣組織しつゝあるに非ず諸君にして是れを不當とせば何故政府に向つて之れが解約を迫らざるかと述べ、柏原文太郎氏(國民)の原案賛成意見、橫山勝太郎氏(憲政)、上島長久氏(憲政)の反對意見ありて討論終結す、採決の結果大多數を以て可決を爲し同四時散會せり

[illegible] 醉賊の嘆

橫田大審院長は性來頗る變つた人である▲坂の上の門柱は自然に生はた櫻の生木を其儘利用して之に蠅を(…)ぶち込んで門所を取付けてある▲而して一本は錆の爲に既に枯れたが一向補修する樣子もなく其儘任たりつ放しにしてあるも又た極めて質素で抱へ車夫の如きも自分の用が濟むと毎晩坂下で夜稼ぎに出して勤儉を勸めて居る▲だから此の風の時若しも車夫が休んだりすると非常に御機嫌が惡く▲自分で態々車夫部屋へ迄出かけて仔細に覗いて見る相な▲車も永らくの間は鐵輪であつたが多額論が流行出してからやつと普通のゴム輪に改めた▲最新流行なには大抵一寸遲れて進むと云ふの橫田明の處世の方針だと云ふ▲大正の彥左衞門三浦觀樹將軍・飛び出して富坂迄が騷々しくなると一番喜ぶものは門前の煙管のラウ替屋さんだと▲何でも將軍が熱心切つて來ると酒落た朱羅字の長煙管で火鉢のへりを力任せにポンく叩く▲而して又折れたくで御用が多くなるからだとはマサカ

◎大阪だより

▲歐米向の絹織

時局以來大規模の註文にて短期限は困難なる行の註文は依然新を迎へ生活は短縮なる(…)洲方面より縮緬類を主として絹紬物の註文多く歐米其他交戰國は戰時と云ふ狀にして一般生活程度の向上の傾向は織物方面に著しく十圓以上の上等品が中流以下の需要に迎へられ居れりと其他の註文入込み特に縮緬は頗る顯著しきものあるに拘はらず流行は前年に比して却つて(…)向ひ本年春著は大島物の如き反三十六圓五十五錢在來品二等十六圓三十五圓八十五錢見當を持しつゝある以來更に製產を繼續し一方原料絲の騰貴不安と時局の變化を案じて昨年中は依然製產を控へ(…)際せる事とて相場は五六分方强含にて長く鈍狀を持續せし織物も漸く順調に向ひ來れりと

▲錢鯨油

七圓三十錢と小樽市場は暗き落花生油は本地相場は三四月積神戶シーアイエフ五十錢以下にては賣物なく(…)

葛原𦱳先生編纂 ▼全部四十八冊▼每月四冊出版

課外讀本

修身例話 新刊 尋常三年 尋常四年 尋常五年 尋常六年 各學年 三月の卷 發賣 壹千貳百篇 中判美本 各百廿頁 石版口繪 各三頁入

正價各冊廿八錢 郵稅各四錢

兒童を愛しむ 教師及父兄諸氏に薦む

「課外讀本」は方今兒童教育界の現勢に鑑み、學校以外の補充教育として、兒童の智育德育に稗益あらしむべく編纂せるものにして、少年少女にその旺盛なる智識慾を滿たしむべく、各々其の學年向に適せる話を按排し、題材は總べて事實談を集め、文體と組立とは特に變化あらしめ、兒童をして興味を以て讀了せしむべく巧みに綴述したり。眞に兒童好個の讀物たるは勿論、教師及父兄諸君の話材を求めらるゝにも、亦唯一の良參考書たらむ。

既刊 各學年 一月の卷、二月の卷 大歡迎

潜航艇記

海軍大佐 西垣富太 先生著 / 栃內曾次郎 閣下序 海軍中將

海中の退魔潜航艇の發審帶は西垣海軍大佐の發筆で切り裂れた。其內臟も抉り出され解剖された。一々精密なる深山の圖や寫眞で說明してある。其浮沈する原理も分明する。活動する實際の光景も見られる。機械水雷の副產物もある。文字に平易で興味はフイルム以上(中判上製圖版六十個入)

正價六十五錢 郵稅六錢

碁石細評

廣瀬平治郎君著 六段

本書は「太陽」誌上に連揭せる十年間の粹を拔きたるものにして、資棋譜を三段階に區分細評せるの樣式は實に棋伯の創意に係り、本書の特色となす。之を戰爭の歸趨に照して手段の由來する所に仙凡の差あるを示し、併せて寸毫の小利害に至る迄指導して遺憾なし。(半紙判和裝美本)

正價六十五錢 郵稅四錢

東京 本町 博文館 振替東京 二四〇番

地方必適 新副業

勤人も農家も商人も在で今より初めなさい殆栽極て良き絹絲の捲直し仕事で日收壹圓とは行きません が老人小供でも樂に儲ります內職副業として御希望の方は相當の富を得る事容易で但し供給に制限あれば至急返信料封入御申込み下さい 照會願ます 東京戶塚町源兵衞四七 野村精絲場

季節品揃急告

メリヤス類一切、文房具一式 洋傘、各種帽子、旅行用具 日用雜貨

營業案內 多少に不拘御用命の程願上候

京城南大門通一丁目 諸雜貨卸商 瀬戶商店 電話二七一七番振替二四〇一番

京城高等普通學校教諭阪上綱吉先生著・價八十錢特七十五錢稅六錢

朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義

本書は各種官廳の採用試驗に應せんとする人の爲めに、既出の試驗問題を網とし、教授の實際を緯として簡明に叙述し、採つて以て答案をなし得べきやう講義したるものなるが故に、各法律に發刊以後に於ける法律の筆記試驗問題が其の姉妹篇法律問答と相俟つて、之れ本書中に舉げられてあるを以て受驗者に必要缺くべからざる所以なり。直に月桂冠を得んとする人は座右に一本を備へることを薦む。

賣捌所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

株式名義書換停止公告

來ル四月一日ヨリ當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス 右定款第十八條ニ據リ及公告候也

大正七年三月 朝鮮郵船株式會社

購買 精米、大麥、藁 龍山陸軍倉庫 詳細ハ三月十九日以降朝鮮官報ニアリ

廣告 花見時に牛耳洞の地域を使用御希望の方は至急御申込みありたし 京城 共信社

三月十七日 大垣丈夫

醇良清酒

大阪府堺市 釀造發賣元 吧(?)家源次郎

京城本町一丁目 電話長二九〇番 特約販賣店 佐藤牧太郎

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢郵稅二錢 京城太平通 京城日報社代理部 振替三〇〇番

釜山商店案內

酒精、燒酎 壺入瓶詰 西貢米 碎米 大豆大麥 食料 雜貨 砂糖 麥粉

釜山 埋立新町 福榮商會 卸部 電話長一〇八番

雜貨問屋 明治屋本店 釜山大广町 電話 二〇〇四番 振替 釜山 一七〇一

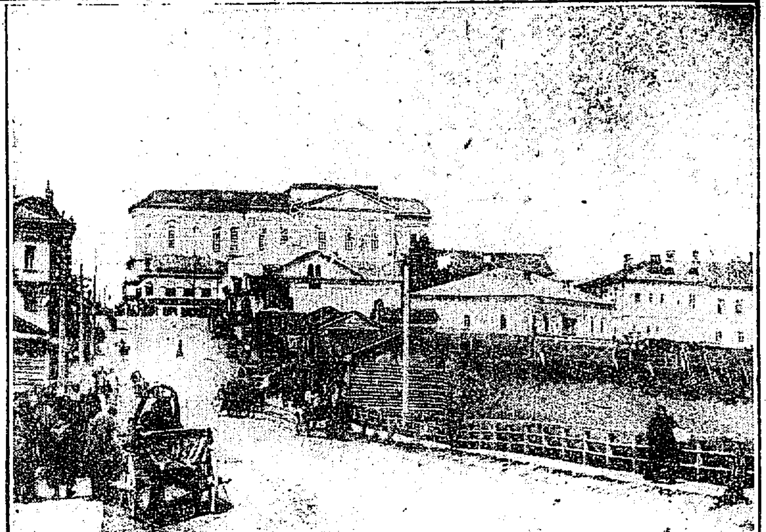
洋酒 罐詰 糖粉 卸商 (月刊發行) 釜山 やまづあ商店 振替長崎二五八番 電話三九番

長岡商店 釜山辨天町

[illegible]期ご相俟つて組織物の輸出旺盛たるが米國は一呼吸の壯なるも最近英佛等歐洲方面を始め加奈陀、濠[illegible]杯の生産能力は全部約束濟の好況なり其の繻子類の註文佛國濠洲方面より註文入込み來れるが皆斷り

△生産向上ご絹織　財界好況の反映として絹物需要は益々贅澤に傾き年一年と上等品に[illegible]は常用品として盛に賣行き[illegible]絣の如きも丈夫向きは向かず太織の派手なるに非ざれば賣氣な[illegible]地方大手筋の朝鮮に於ける組織買[illegible]益盛況を極めつゝあり為めに成興大豆の如きはオイアルコ一等十[illegible]

△夏綿織恢復　[illegible]は品質を撰底[illegible]絹織物は昨年獨逸講和の聲に大恐慌を來し始[illegible]問屋側の買氣に促がされて急に[illegible]一齊に夏物操業開[illegible]が目下需旺盛期[illegible]油相場は買物薄ご在荷豊富のため[illegible]概して閑散の保合を示し居れり[illegible]綿油七圓三十錢[illegible]が神戸市場は在荷豊富のため時機待保合を呈し三十三圓二十錢を[illegible]へ居れる大口物は三十三圓[illegible]如し[illegible]る現狀なるが茲當分の間各種油類の市況は概して閑散保合の裡に經過せんとするの風潮にあるもの(大阪支局)



◇内田大使一行の停留せるダウリア驛

高柳少將一行 露都より

意外の平安に東清線を還る
＝同車の婦人客奉天にて語る
◇汽車は露兵に護られて來た◇
◇露都は革命に滿足してゐる◇

露都より引揚げ來れる高柳少將の一行は先月二十四日露都發特別列車にて一路平安十四日哈爾賓に到着せり一行は日本觀戰武官及日本新聞記者商人の人々三十四名なるが一行中の日本婦人一名は十七日朝奉天通過京城に向へり其の談に曰く、今度露都から哈爾賓迄は二十日間かゝりました露支國境

◇ダウリヤ驛　附近の鐵道は破壞された爲め私等は黒龍線に廻らねばならぬかと思ひましたが意外にも何の差支へなく無事滿洲里から東清線を哈爾賓に出ることが出來ました、内田大使一行も十三日イルクツクを通過されましたから今日頃はモー哈爾賓へお著きの事と思ひます

◎大使の汽車は　無論滿洲里を通過することゝ思ひます尤も國境の線路は過激派並びにセミヨノフ大尉の特別の取扱ひで通れたので今後は又不通となるかと思ひます滿洲里驛に著きましたのは十三日の午前十一時それから四五時間經つて夕刻無事に立ちました國境の防備は別に

◇戰爭らしい　氣分も見ねません唯附近の小山に支那兵の哨兵らしい人が銃劍を輝かして立つて居りました哥薩克のセミヨノフ大尉も列車に來て種々と露西亞人と語り合つて行きました支那の士官もまた自動車で高柳少將を訪問しました四邊は一面に廣い野原で

◇西伯利は雪に　蔽はれて居ますが滿洲境に入りますとモー春の如うに思はれます私共の汽車は亞米利加人と一緒の特別列車でございましたが途中ウラル山附近で後から來た急行列車が追ひ著きました此內にも大分引揚げの方があると聞きましたが車が違ひますからどんな方か存じません私の列車では

◇日本婦人は　私と今一人の方と二人限りですが大使の列車には奥山一等書記官の夫人と子供の方が乘つて居られます途中日本の西伯利出兵の噂も聞きました大使を途中で留めるとか申す噂もありました然し列車は露都から嚴かに露兵に護られて來ました滿洲里からは支那兵が代りました最も

◇ウラル山附近　のエカテリンブルグ附近で列車の水兵と守備兵とが喧嘩して双方から打合ひました、私共は其時下車して居ましたが小銃音に驚きましたペトログラアドではもう獨逸の俘虜が自由に歩き回つて居ます、私共が引揚ました時にはもう露都から三百露里のプスコフと申す處に

◇獨逸兵が押　し寄せたと聞きました、露西亞は今過激派の天下で、レニンが自分の理想通りの社會主義を實行して居ります夫れで勞働者や農民が大威張りで土地も皆働く人に分けらるゝと申しました勞銀は一日二十留位取ります勞働時間は一日八時間に制限されてあります、芝居は不相變毎晩盛んな見物人がありますが御客は皆勞働者に變りました

◇食物は麵麭が　二日に四半斤、砂糖が一箇月一斤半と夫れ〳〵極めてありますが主なる食物の馬鈴薯などは四つが二十三留致します、而して誰れももう戰などを念頭に置くものもなく此頃はヤリの(スロボーダ)と云ふ言葉通り總て革命に滿足して何も彼も投槍の自棄に落つて居ります、政府は今度莫斯科に

◇遷都したと　云ひますが準備はズッと以前から出來て居りました、露人はもう獨逸が來つて誰れが攻寄せたつて何とも思つては居りますまい、獨逸の侵入は却て喜んで居る位でせう露都の新聞は今ウエーダと云ふのが一番盛んです是れはミルコフ市のレーチが變りましたのでノウエ、ウレミヤなどは疾の昔に無くなつて居ます夫れに

◇獨逸文字の新聞　があつて是れは盛んに獨逸人の革命思想を煽動する爲めだと申しました、レニンは今獨逸から武力で負けましても思想の上から獨逸を征服しようとして居ます朝鮮は今度六七年振りで懷かしく思ひます京城には姉が居ますから其方に是れから行くので御座います(奉天特電)

雪のイルクツク

＝日光も透さぬ處女林
數千露里の氷の大江

最近イルクツクより歸朝したる某氏の談に依れば西伯利はまだ氷の原でイルクツクから數千露里も北にあるレナ河の上流地方とは

◇氷上　を橇で交通してゐるレナ河はイルクツク州からツングス人遊牧地の水源を集めヤクートスク州から北氷洋に注ぐ大河で其の長さは臺灣から千島列島の北端に至るよりも長いかと思はれる程である、夏は船で遡江し冬は橇で奥地に行くのであるが

◇奥地　に進むに從つて大江の兩岸は原始のまゝの大密林があつて十數人が手を繋いでやつと抱へるやうな大木が日光も透さぬやうに枝を交じへ猛獸は到る處に出沒してゐる餘程大膽なものでないと物凄くて遡江出來ないが流石に露西亞人は手に

◇拳銃　一挺を持つたゞけで無人無毛の境に進んで行く、殊に冬の旅行は困難で全身毛皮で包み殆んど熊が橇に乘つてゐるやうな姿をして日のある間は馬を全力で驅らせ夜になると薪を焚いて假睡を取る、とても日本人の想像も及ばぬ危險と困難とに鬪はねばならぬ、奥地に行くに隨つて

◇遊牧　民の姿を見受けるが彼等は夏の中は猛獸を逐うて數千露里の間を遊牧し冬半箇年間は土地も知れぬ曠野の中に穴を掘つて棲む、無論通貨の必要もなければ人間らしい生活はして居ない、夏の中に獲つた毛皮などは部落に出て來て物々

◇交換　をして行く東部西伯利にはチエコーツ人イカギール人ツングス人ヤクート人西部にはタタール人ツオングル人キルギス人等が遊牧して居るが彼等は東洋人に似て居る點が多く就中キルギス人ヤクート人は印度人に似て色が黒く一夫多妻主義で七人位妻君を携帶して居る者は珍らしくない

漢陽公園へ　(十七日の朝)

京龍情死史　(七)

梅ヶ枝榮吉

奬忠壇の木枯しに物の哀を留めて
秀才の末路＝美人の薄命

『妾は六白貴様は八白、相性ですつてね』涼しい風の立ち初めた頃から二人は恁んな夢のやうな甘い睦言で戀の甘さ美しさを樂しんで居た、妓は元祇樓支店の梅ケ枝、妓であるが前の年の九月頃同樓に抱へられてからと言ふものは

◇病氣　續きで稼業にも身が入らず、勤めが辛いと泣く事もらしくなかつたがそれが榮吉さんふ二つ年下の情夫が出來てから稼業にも精が出た、沈んで居た花も春の若草のやうに面白上つて來た、仲居さんに

◇お樂　みとお追從言はれても『嫌らしいこと』と言つて顔を赤くするその初らしい處が榮吉の初心の心に喰ひ入つて學校の教室でも自宅に居つても赤い灯の點く時刻が無性に待たれた、その頃榮吉は通學して居た大和町の東洋協會の可成に

◇校紀　が紊れて居て學生は隊を組んで新町に押出したりカツフエの氣分に耽溺したりして居たので榮吉も自然其仲間入りをして毎夜の如くデカタン氣分を味つてゐた、其中に梅ケ枝と馴染を重ねるやうになつてからは校からの注意もあつたらう

◇友人　には隱れて通ふやうになつた及川は怪しからん奴だ密つと遊んで口を拭いてゐる『一寸』と嫉ましげに憤慨するものもあつたがその時はもう二人の仲は濃くなつて末は夫婦と

◇誓文　さへ交換されて居つた、夏も過ぎ奬忠壇から秋風が訪づれて廓の並木も凋落の色に染んだ頃から朋輩や女將の眼には二人の間が常ならぬ者に映じた『貴方は情死なぞを演るやうな事はあるまいね……』と

◇女將　が梅ケ枝に訊た事もあつたが妓は何時も『あの人は田舎の富豪の一人息子で郷里へ歸れば立派な若旦那だもの妾たちと情死して下さいと言つたつて死んで呉れやしないわ。それに學校では一番目だつて言ふぢやないの。女將さんそんなことをもう

◇止し　て頂戴、妾氣持が惡いわ』と平素の優しいにも似合はず剣々しく言つてゐた。それやこれやで樓內の人達にも氣兼ねが多くなつた。それに寒空になつてからは梅ケ枝の病氣はだん〳〵重くなつて來た

◇榮吉　も女の情に絆されて浮世の無常が身に沁みて來た。奬忠壇の木枯しに散へなく散つた二人はその翌日[illegible]の煙と化つて一松の枝に縊れ〳〵て消ねた

[illegible]

板東委員長卒倒

衆議院議席にて

十六日午後三時半衆議院議席にて請願委員長板東勘五郎氏(政友)は腦溢血の爲め卒倒し齋藤紀一(政友)伊東匡(政友)の兩氏等を初め大勢福村醫急手當の上東京病院に送りたり因に板東氏は半身不隨となれり(東京特電)

製鐵所鑛務課長逓行さる

福岡地方裁判所平田豫審判事兒玉檢事は書記二名を隨へて十六日午前七時頃八幡へ出張し來り鬼ケ原の官舍なる製鐵所鑛務課長工學博士萩原時次(五七)の宅を捜索して遂に疑書類を押收し博士を同行し午後二時半八幡發の電車にて福岡に引揚げたり、博士の家族は妻とよ(三八)養母みね(六三)次男貞郎(二三)三男晴郎(二〇)四男進(九)長女すみ(六)二女あき子(四)の外書生一名下女四名にて平常の生活振りは却々贅澤なりしと、事件は更に發展の模樣あり(門司特電)

春第一の日曜

山邊も里も賑つた

◇この次の日曜は何處へ！ほんとに春も、あたたかい春になりました、長い間、閉ぢ込められた氷の目を忘れた樣に大地も汗ばんで、はやくも草の根に芽ぶきの青い色をのぞかせれば、温突の小さい窓からばかり、この浮き立つ

◇春を　眺めてはゐられません

◇郊外へ行つてご覧なさい！春の郊外云美しいものはない』と日曜の晩の御飯の時お父さんは仰たでせう。十七日のけふの日曜はお父さんの留守をなさるのもあつて、お母さんに連れられた小さい人々が

◇昌慶苑へ、漢陽公園へ、久しぶりに出られたお母さんを引張つて、漢江へ、奬忠壇へといよ〳〵樣に、お廻りして、春のよろこびに、お母さんと一所のうれしさに疲れる迄に遊び歩かれた樣でした。そのために電車もいつになくなく

◇滿員　滿員でそれが赤春らしい小さい人の綾布などに美しく彩られてゐました、漢陽公園の見晴らしのわたりは夕刊の點頭の通りで脚下す京城の街は霞んで美しうございましたね、ほんとに公園の坂を上る時には少し汗ばむ程に

◇暖い　よい日曜でしたね、だん〳〵暖い日曜が來ます、この次の日曜はどこへ行きませう！

學校の卒業式

◎女子校卒業式　南山町私立京城女學校にては二十二日午前十時より第十回卒業式を擧行し生徒の成績品を展覽せしむ

◎專修學校卒業式　京城專修學校にては二十日午前十時第二回卒業式を擧行すべし

◎徽文塾卒業式　府內苑洞私立徽文義塾にては十九日午後一時より第九回卒業式を擧行する由

◎村旭竹筑前琵琶溫習會　村旭竹氏にては今十八日午後六時より本町[illegible]館に於て第三十回琵琶溫習會を開催する由なるが番組は左の如し　▲鉢木(竹櫻)▲白虎隊(竹見)▲海津(竹[illegible])▲伏見の吹雪(竹[illegible])▲兜之錣(竹[illegible])▲義氏之錣(竹[illegible])▲湖水渡(竹[illegible])▲弟之[illegible](竹[illegible])▲高田之馬場(竹[illegible])▲[illegible](竹[illegible])▲川中島(旭[illegible])▲[illegible]▲石童丸(旭[illegible])▲村[illegible](旭[illegible])▲[illegible]▲城山(旭竹師)

本劑の特長
本劑は最新高貴藥を配伍せる注核鎭咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンを拔りセキを鎭め胸苦きを和らげ夜分安眠の効を奏す。先づ一週分試みよ

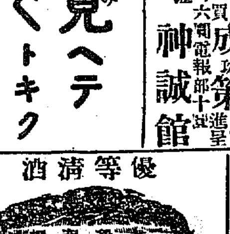
かゝる時に偉効あり
■息苦く胸痛む時 ■咳出で夜眠られぬ時 ■たんに血の混る時 ■聲涸れ出でざる時 ■のんご腫れ痛む時 ■たんせき切れ難き時
價十錢、二十錢、四十五錢
本舖 大阪心齋橋 東京藥研堀町 丹平商會藥房
全國到る處の藥店にあり

古著古洋服
諸價格の折 多少に不拘電話又はハガキにて御知らせ次第早速御伺申候 買入可申候 質札買受交換等も仕候
京城本町二丁目 あはじや 江頭衣服店
本店電話一三二五番 支店電話九一七番
店員入用 十二三歳より十五六歳迄 兩五名但市内に保證人を要す

目ニ見ヘテ ズンぐトキク シユマズイタマヌ
井上博士 ロート目藥
眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に惡いからロート目藥には消毒した布と下圖の樣な新案の點眼器を添えてある
●全國各藥店にあり
定價 徳川大瓶五拾錢、中瓶廿錢、小瓶十錢
本舖…東京…大阪…山田安民藥房

大募集
米買鑑定 三十餘年來米商に從事し愈經驗を積みたる者の考案を以て鑑定法を公開す○端書にて申込次第一册呈す
米買眞理と米買成功策
通信料一ケ月六圓 電報部十圓
東京市本郷區湯島四丁目 神誠館

電氣化學科特設 (晝間)豫科一期二期本科一期 (夜間)豫科一期二期本科一期高等科選科
授業開始四月十一日 規則書は申込次第送附
東京市神田區錦町 電話本局七九八、五一三〇
電機學校
豫科講義錄完成
校外生募集 講習生(特殊の通信教授)(普通の通信教授)隨時入學

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話四一三 振替口座四二三九番
樽賣御斷り

各種鑛物分析依頼 金銀精製に應ず 新發見鑛區買入
京城旭町一丁目七 中村分析所 電話一壹一七番

朝鮮督府裁判所書記兼通譯生 普成、商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース頒美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の內容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 大阪屋號 巖松堂

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町一丁目 發賣元 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

內科 小兒科 皮梅科 外科一般 婦人病 花柳病
京城黄金町一丁目(長橋通角)
朝鮮病院 診療 (入院隨意) (電話一八三七番)

櫻御殿

第百七十七回 大阪 霞の家主人

座敷牢(十六)

利右衛門は今か〳〵と待つて居たが消之丞は出て來ない、その中にぢり〳〵と日が暮れかける、任務を終つた家中の士が三々五々歸つて行く、それ等について消之丞の事を聞かうと思ふが、他國者ではあり、顔見知りも無くて、突然聲を掛ける事も成きぬので、元の樹蔭に目を光らせて居ると、そこへ甚内と角内とが悄々と遣つて來た、後から馬丁が主のない馬を牽いて來る。

『これ〳〵』と利右衛門は聲を掛けて『お身達は松瀬殿の御家來でないか』

『はい』と甚内は立ち止まる

『手前は先刻お屋敷へ參つたものぢや、消之丞殿お退りもあらうと存じ、これにお待ち申したが、一向左様な様子がない、今夜は御城内でお泊りか、様子を承知致し居らば知らせてくれぬか』

『さあ』と甚内は答へに詰つて角内を見返つた、角内の面に雲が掛る、最も無言

『先刻お屋敷でも申す通り、是非お目に掛りたい事あつて遠方より罷り越した、萬一お泊りと定まらば、お待ち申して効がない、これから宿へ引き取つて、明日の日を待たねばならない、平に頼む、消之丞殿御都合を聞かせてたもれ』

『どうでございますかわたくし共には分りません』

再び問はれて甚内は斯う答へたその内に馬丁は馬を牽いて行き過ぎる

『然し、お身達ばかりが歸るでないか、すれば様子は知て居やう』

『旦那様の御都合は分りません松瀬殿の御家來は此のまゝ立ち歸るやうとのお詞を承はつて、引き取る處でございます』

『それではお泊りであらうのう』

『多分御泊りであらうとは存じますが、只今の處では何方とも申し離ねます』と甚内は云ひ切つて『角内歸らう』

『おゝ』と角内も行きをかける

『さりとては情無い家來衆ぢや、その位の事は云うてくれても好いでないか』

『何う仰せなされても、知らぬ事は云はれません、もし何なら明日までお待ちなさいまし、その内には旦那様もお退けになるでございませう』

二人は云ひ捨てゝ行き過ぎた、利右衛門は一身の始末に困つて、茫然と立つて居る、そこへ通り掛つたは、年の若い勤番者の武士であつた

『消之丞殿も甚いお疑ひを受けたではないか、隅櫓の御座敷へ押し籠められた者は、乾殺しになされるが掟、不憫さうに二度日の光りを拝む事は爲きまいの』

『勿論々々、關ケ原御陣の節は、仰かけの忠義をして、大殿の御賞美にもあづかり、御感状を受けた者、それが今日の態はどうぢや、切腹でも仰せ付けられることか、乾殺しと相場の定つた座敷牢、思へば不憫さうなものぢやのう』

利右衛門は聞くと共に、われ知らず駆け出して

『もし、一寸お尋ね致します、それでは消之丞殿重いお咎めを受けたと見ねます』

『消之丞は座敷牢へ入れられた、多分十日二十日の中には飢死を致すであらう』と一人の士は同情の目を濕ほはせながら『お手前は有縁の御仁か』

『御意でござる』と利右衛門はいよ〳〵驚いて『容易ならぬ儀、自體何うした罪科がございました』

『有縁の御仁と承はるゆゑ、包み秘さずお話し申すが、消之丞罪科は反逆同様、容易ならぬ惡事でござる』

『容易ならぬ惡事とは』利右衛門は聲を徽ませる

名聲いよ〳〵高く信用ます〳〵厚き
高麗人蔘エキス
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房 電話一九四八番 振替京城二七五三番
支店 大阪市西區市岡町二七一

寂光集

三月十四日

默

□
石と石、すれ合ふ音のこそ〳〵と水底の白波にましこ聞ゆれ

おのづから投しかけけれこそ〳〵くねれにそねれし川原の小石

秀夫

□
このま悲しやつぼみだにがかぶりて石の上にはさかけゐるも

浮びたる軽石過ふさ淵の中に走さたまらぬ妹の愛しさ

不足

□
せんなしにこの寂しさの動くやさ川原に石を投げ見たりけり

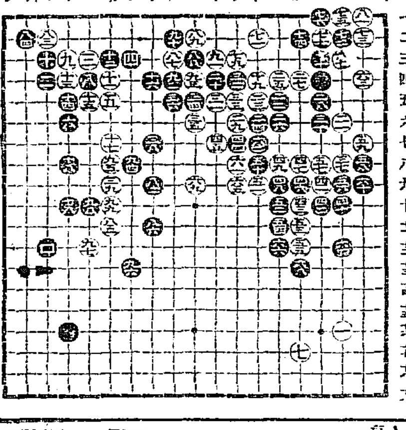
投げ打ては川原の石はひとつひとつ寂しき音を立つるものかな

碁戰

十番碁第八局の(五)

三段 山平壽氏
二子 大久保雅彦氏

〇八一 ロの一
〇八二 チの九
〇八三 レの二
〇八四 ソの二
〇八五 カの十二
〇八六 チの十二
〇八七 ルの十三
〇八八 ヌの十三
〇八九 ヌの十二
〇九〇 ルの二
〇九一 リの三
〇九二 ホの四
〇九三 ヌの三
〇九四 ヲの八
〇九五 カの八
〇九六 ヲの十二
〇九七 ヨの十二
〇九八 ヨの十
〇九九 カの十
一〇〇 ソの十二



新刊紹介(到著順)

▲東界新報(三月號) 二十錢東京牛込區下宮比町共社
▲工學(三月號) 二十五錢東京日本橋區本石町共社
▲日華之實業(三月號) 三十錢東京麹町區共社
▲ローマ字(三月號) 十二錢東京麹町區有楽町一の三ローマ字ひろめ會
▲少年(一七六) 口繪及び挿畫さも何れも美麗なるもの集め記事も亦た賑やかに少年の喜んで讀みさうなものを豊富に蒐録し特別懸賞『年當て』あり(十八錢東京時事新報社)
▲飛行少年(四月號) 口繪表紙其他寫眞版插畫等何れも鮮麗にして『卒業文』も壯快なる勇しき談話多く特別懸賞『面白い地理問題』あり(十五錢東京々橋木八丁堀二ノ一日本飛行研究會)

詰者の領分

▲東京の某大會社で京城出張所の主任は二百圓計りの俸給を載いてゐる人が此の頃南山と有樂部との前で深夜人妻を二人凌辱した一件は如何なりましたか(吃驚生)▲京城で若し賭業番附を拵へたら先づ古物屋が大關の格だらう次が到る處に散在する小料亭かな(探訪生)▲路上に痰唾を吐き捨てるは常然のやうに心得てゐる者があるから困る是一度横町へ入れば路上は痰唾だらけで不快此上もなく嘔吐を催さずんばあらずお互の注意を望む(モーニング)▲去る十一日の夜旭町の日の出湯で優妻の與さんが柱に凭れて食指に頬あてゝ馬鹿に粹な風を粧うて居られたハテ誰れの細君か知ら(番臺の女)▲春未だ寒き十四日の夜南山町は南山細の傾崖から少しばかり上から左手に折れた處に五歳位の子供が給一枚纒うて溝溜の側に泣き伏してゐた事實を隨べて見ると母親が知れで子供は母の無情と寒さに慄へて泣くばかり抑も母と云ふのは遊冊か八夕餅舛か軒燈には△藤松△堂と書いてあつた(實見子)

書畫用 紙 京染呉服商 たまや出張店 京城旭町二 電話一九六番

本邦群青工業 前途頗る有望

▲獨逸より供給を受け居たりし……及べるが本邦にては戰前迄……現を翹望すにる至り各所に於て研究に從事する者頻出しるが中にも大規模の資本を投じ之が研究を……て外品輸入の數量は漸次減退し最近三年間の輸入額は實に左の如し

年別	數量	價額
大正四年	[illegible]	[illegible]
大正五年	[illegible]	[illegible]

▲内地の消費額に對しては猶ほ不足し假に年々六十萬斤の消費ありとする十七八萬斤は外國……るが由來同品原料は製品價額に比し低廉なるを以て經濟上より見て生産者は利潤多きのみならず我國……

羽二重益昂騰 歐米の新規註文

輸出羽二重は歐羅巴方面が船繰狹和せるを……して新規註文を寄せて買進むに至るより市場人氣は一層強硬を加へ木曜日は各品又更に十錢内外の奔騰を示せり特に金澤品の輕目羽二重は過般來需要の存せるに……機運一新し歐米の新規需要の侮る可からざるものあると倶に市況頗る強硬を呈しつゝあれど……後生産激増時期に當り如何なる結果を生ず可きや否や……

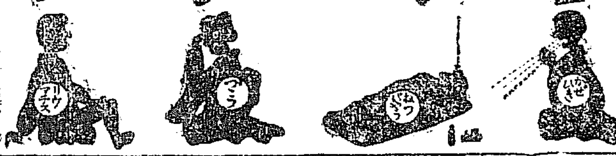
▲津村長之助氏(鮮銀本店……) 十六日夜入京不知火へ
▲金田道通氏(平安南道事務官) 同上
▲尾崎虎一氏(黄海道第二部長) 十九日午前九時南大門著赴任の筈

大募集

自動車運行機自動艇及飛行機一切の最新智識ある技術家養成の爲め十回各等科を新設し四月一日開始 短期の專科校外生も技術者販賣係として月收百圓にも達し内外に成功す 大阪分校新設特典雜誌規則送

東京京橋南紺屋町 東京自動車學校 至急申込

かぜねつに一番よくきく キナピリン



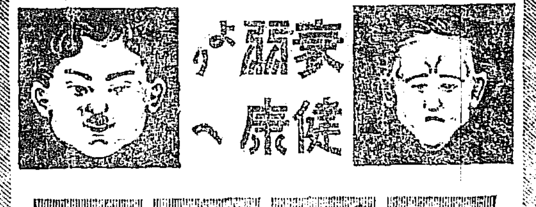
キナピリンは◎感冒◎熱病◎頭痛◎インフルエンザ◎リウマチス◎間歇熱(マラリヤ)等に大効あり
定價 二包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓
大阪市堂島元標前 本舗 高橋盛大堂藥局
同一心齋橋博勞町 發賣 高橋盛大堂分店
各地到る處の藥店に販賣す

李王職御用 模範牛乳 ニウソ 石鹼洗粉
東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二番 牧主 肥塚正太

りん病ばい毒
近年東京其他各地にドラクありと謂ひ類似せられる品あり……本舗以外にドラク商會と稱する者あらばそれは全く吾が商號を盗用する詐欺漢なり 切に患者諸君の御注意を乞ふ

京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 滿鮮本部
京城黄金町三電車通大阪ドラック商會

ナミダ情ないことでじやう!
眼病で何より好きなお芝居が看られぬとは……早く
大學目藥で治しましやう
大阪 合資會社 參天堂藥房發行



衰弱したる人が健康へより

レグモン

健康の幸福に入るべき最も容易なる方法は新滋養劑レグモンを服用するにあり、レグモンは人體營養の第一要素たる蛋白質の多量と血液の濃度を增し細胞の抵抗力を強め心臓を強壯にすべきカルチウムの適量を含有するが故に病中病後の衰弱は勿論、平素營養不十分にして身體虚弱なる人はレグモンに依つて健康の幸福を得らるべし

全國有名藥舖に販賣す 說明書無代郵呈

定價 一百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五十錢

一手販賣 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

朝鮮學術研究會編
朝鮮 中學校 高等普通學校 商業學校 高等女學校 入學試驗問題集 答案
四六版 二百餘頁 定價金五拾錢 送料四錢
發行所 京城本町二丁目 電話二二五二 振替二二一七 ウツボヤ書籍店

學生諸君……御待兼の入學試驗問題……賣切れぬ内に……買ふて入學の榮を得られん事を

安藤辰四郎著 朝鮮總督府語學試驗 [illegible]
四六判洋裝 二百五十頁 定價九十錢 送料六錢
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城二〇〇番 京城日報社代理部
賣捌所 大阪屋號 巖松堂 日韓書房

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆
◎神戸大阪行(群山寄港) 須磨丸 三月廿四日 後五時
△日清丸 三月 日 後五時
△福州丸 三月 日 正午
×安東丸 三月二十一日 正午
鎭南浦、釜山、嚴原、郷ノ浦、長崎行
×安東丸 三月 日 正午
信濃川丸 月 日 後二時
元山出帆
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 三月 日 後九時
安平丸 三月二十一日後十二時
大連出帆
湖北丸 四月二日 前六時
基隆丸 月 日 後四時
上海、基隆、打狗行
内地各港出帆主要航路
南米行 毎年一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月一回
南洋行 毎月一回

朝鮮郵船 出帆
本社 電話二一九五三
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門通 松原運送店

第二高運丸 月 日 釜山發
成鏡丸 月 日
京畿丸 月 日
忠清丸 月 日
元山より北鮮各地經由雄基行
咸鏡丸 月 日
慶城丸 月 日
京城丸 月 日
忠清丸 月 日
商運丸 月 日 元山發
大阪行(釜山門司經由) 平壤丸 月 日 釜山發
元山ヨリ釜山臨門行 第二高運丸 京畿丸 月 日 元山發
元山ヨリ江原道寄港釜山臨門行 成鏡丸 忠清丸 月 日 元山發
鬱陵島行浦項及各地經由 登德丸 月 日 釜山發
浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發
濟州島行長承浦巨文島經由 昌平丸 月 日 釜山發
濟州島行(西廻八回二郎) 東廻 公州丸 西廻 慶興丸 月 日 木浦發
釜山麗水間 統營丸 濟州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
木浦麗水間(麗水にて釜山行接續) 順天丸 南陽丸 三日目毎ニ 木浦發
木浦ヨリ多獅島各島行 慶興丸 月 日 木浦發
仁川木浦行(群山其他各地經由) 晉州丸 金海丸 月 日 仁川發
海州行(江華島延坪島經由) 全州丸 南陽丸 休航 毎日 仁川發
三十一日ハ休航 其他緒氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
青島行(芝罘大連經由) 江原丸 月 日 仁川發
鎭南浦行(大阪神戸門司より) 咸平丸 月 日 釜山發 元山發

釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日 後五時出
立神丸 月 日 後五時出
○元山、浦津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日 後十時出
立神丸 月 日 後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天興丸 毎月二日九日十六日廿三日(十四)午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三翠丸 三月 日 後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三翠丸 三月廿一日 後六時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船 仁川出帆
阿波共同汽船株式會社
芝罘、大連行 共同丸 三月十七日午後八時入港 三月十八日午後一時出帆
本町四丁目 仁川代理店 野口商會
京城代理店 河村運送店

日本郵船 仁川出帆
大連行、天津行 和横丸 三月二十日 正午出
三河丸 三月 日
商砂丸 三月卅一日
仁川海岸町 堀回漕部

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行 神代丸 三月二十日後四時出
秀吉丸 三月廿一日後四時出
君代丸 三月十八日後四時出
大有丸 三月廿五日後四時出
仁川海岸通 高杉回漕部

開自動車著發時刻
金泉支部